

第3次島田市男女共同参画行動計画(令和元～5年度)実施計画書

別冊 1

基本情報(計画での位置づけ)

区分	I	あらゆる分野における女性の活躍推進
基本的施策	1	ワーク・ライフ・バランスの推進

事業シート(事業番号)

項目	1	多様な働き方を選択できる環境の整備	目標達成のための取組	交流会やセミナーの開催回数や参加者数は一定数確保できており、今後はセミナー満足度を高めるため、利用者のニーズを把握し、充実した内容のセミナーを企画・開催する。	担当課
内容	産業支援センター「おびサポ」で、事業所や起業希望者などの相談を受けるとともに、セミナーや交流会を開催し、多様な働き方に関する情報提供を行う。				商工課
事業	1	交流会やセミナーの開催			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価										
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		セミナー満足度(%)		セミナー満足度(%)		セミナー満足度(%)		セミナー満足度(%)		セミナー満足度(%)		
計画(年度ごとの目標等)		70%		65%		65%		65%		65%		
実績(値)	セミナー満足度 61%	61%		60%		78%		57%		55%		セミナー満足度 65%
達成率		87.1		92.5		120.5		87.7		84.6		
評価		A		A		A		A		A		
		87.1	A	92.5	A	120.5	A	87.7	A	84.6	A	
5か年の総合評価 ※評価の平均											94.5	A

5か年の総合評価に対する総括

・セミナーは、前年度のアンケート結果などを参考に、参加者のニーズに合ったセミナーを企画するように努めた。
 ・市産業支援センター主催の「女性のための異業種交流会」は、託児室を手配して子育て中の女性の参加がしやすいように設定し、当交流会では、「とても良かった」の回答が目標値を達成した。
 R1(①84%、②83%)、R2・R3 開催なし、R4(75%)、R5(85%)
 ・満足度については、「とても良かった」という回答数を目標数に設定している。「まあ良かった」という回答も多いため、ニーズに沿っていなかったわけではないと考えられるが、セミナーの内容によっては「少し難しい」という回答もあったり、目標数値に達することができなかった。今後は講座の内容の難易度がわかるように募集方法を改善して満足度を向上させていきたい。

事業シート(事業番号)

項目	1	多様な働き方を選択できる環境の整備	目標達成のための取組	島田ICTコンソーシアム(市が事務局を務める官民連携組織)の取組 ・安心して働くことができる「島田型クラウドソーシング」を構築、運営していく。 ※島田型クラウドソーシング: 運営者、受注者、発注者それぞれが地域密着で顔が見える島田ならではのクラウドソーシング ・子育て中の女性やアクティブシニアをはじめとし、クラウドソーシングで働くワーカーを発掘する。 ・市内企業におけるクラウドソーシングへの業務発注を促進する。	担当課
内容	個人の希望やライフスタイルに応じて、時間や場所に捉われないことなく働くことができる「クラウドソーシング」を推進する。				戦略推進課 商工課
事業	2	クラウドソーシングの推進			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	①	積み上げ評価										
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		登録者数		登録者数		登録者数		登録者数		登録者数		
計画(年度ごとの目標等)		100		125		150		175		200		クラウドソーシングワーカー登録者数(人)
実績(値)	クラウドソーシングワーカー登録者数(人)	72		94		112		121		126		
達成率		72.0		75.2		74.7		69.1		63.0		
評価		B+		B+		B+		B+		B+		200
		72.0	B+	75.2	B+	74.7	B+	69.1	B+	63.0	B+	
5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率											63.0	B+

5か年の総合評価に対する総括

目標値には届かなかったが、年々クラウドソーシングワーカーの登録者数は増加しており、クラウドソーシングという働き方が浸透してきたこと及びその環境が整ってきたことが成果につながったものと考えられる。DXという時流に乗り、受注する仕事の幅を広げていくとともに、引き続き多様な働き方の提案・周知活動に努めていく。

事業シート(事業番号)

項目	2	「男女共同参画社会づくり宣言」事業所の普及促進						目標達成のための取組	啓発情報紙/パレットや市ホームページなどで宣言事業所の紹介を行う。	担当課	
内容	「男女共同参画社会づくり宣言」(県事業)についての周知を図り、事業所の自主的な取組を促進し、登録数を増やす。						市民協働課				
事業	3	事業所等の「男女共同参画社会づくり宣言」の促進									
■実績(値)・年度ごとの評価											
評価モデル	①	積み上げ評価									
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		宣言事業所数		宣言事業所数		宣言事業所数		宣言事業所数			
計画(年度ごとの目標等)	県が行う「男女共同参画社会づくり宣言事業所」の数	125		127		128		129		130	
実績(値)		125		128		128		128		128	
達成率		100.0		100.8		100.0		99.2		98.5	
評価	124	A		A		A		A		A	
		100.0	A	100.8	A	100.0	A	99.2	A	98.5	A
5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率											
98.5											
A											
5か年の総合評価に対する総括											
令和6年3月末現在で、市内の「男女共同参画社会づくり宣言事業所」数は128となり、概ね目標値を達成できた。しまだパレットにおいては、宣言事業所を紹介しており、宣言事業所の紹介数(累計)は、18件となった。											

事業シート(事業番号)

項目	3	市職員におけるワーク・ライフ・バランスの促進						目標達成のための取組	定められた定時退庁日に時間外勤務を命令する場合には人事課長の確認を得るものとし、時間外勤務の累積時間が一定以上になった場合には、その理由と対策等について報告を求めている。	担当課	
内容	定時退庁日の徹底や適性な人事配置による残業時間の削減により職員のワーク・ライフ・バランスの実現を図る。						人事課				
事業	4	効率的な業務遂行と毎週水曜日は定時退庁日等の徹底									
■実績(値)・年度ごとの評価											
評価モデル	③	削減指標評価									
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		時間外勤務時間		時間外勤務時間		時間外勤務時間		時間外勤務時間		時間外勤務時間	
計画(年度ごとの目標等)	時間外勤務時間(時間)	55,000		54,800		54,600		54,400		54,200	
実績(値)		58,122		57,069		52,062		51,462		69,587	
達成率		94.3		95.9		104.6		105.4		72.0	
評価	55,213	A		A		A		A		B+	
		94.3	A	95.9	A	104.6	A	105.4	A	72.0	B+
5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率											
72.0											
B+											
5か年の総合評価に対する総括											
令和元年度から令和4年度にかけて、時間外勤務時間は減少してきていたが、令和5年度は新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の事業再開によるものや、庁舎移転等に係る時間外勤務が増加しており、目標達成とはならなかった。今後もノー残業デーの徹底や時間外勤務の適正な管理について、各所属長宛てに通知をし周知を図るとともに、庶務管理システムのお知らせ欄に表示するなど、定時退庁を意識させていく。											

事業シート(事業番号)

項目	4	子育て支援事業の充実										目標達成のための取組	子育て世代包括支援センターの周知、利用の推進	担当課
内容	妊娠・出産・子育て期を切れ目なく支援する体制を強化していく。													健康づくり課
事業	5	子育て世代包括支援センターの運営												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	①	積み上げ評価												
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)		
指標		相談件数(件)		相談件数(件)		相談件数(件)		相談件数(件)		相談件数(件)		相談件数(件)		
計画(年度ごとの目標等)	子育て世代包括支援センターの相談件数	500		950		1000		1050		1050		1050	子育て世代包括支援センターの相談件数	
実績(値)		905		1554		939		1041		1199				
達成率		181.0		163.6		93.9		99.1		114.2				
評価		360	A		A		A		A		A			1050
											5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率		114.2	A
5か年の総合評価に対する総括														
令和元年度より島田市版ネウボラを開始し、担当保健師という相談窓口を広く周知してきた。また、しまいく+でのオンライン相談も令和3年3月から開始し、相談しやすい環境が整えられ、目標も達成された。														

事業シート(事業番号)

項目	4	子育て支援事業の充実										目標達成のための取組	島田市子育て応援サイト等で情報を発信するとともに、母子保健部門と連携を図り、安心して子育てができるよう切れ目ない支援を行う。	担当課
内容	地域子育て支援センター、育児サポーター派遣事業など、多様なニーズに対応した子育て支援事業を推進する。													子育て応援課
事業	6	地域子育て支援センター事業 子育てコンシェルジュ事業												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	①	積み上げ評価												
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)		
指標		マイ支援センター登録者利用数(人)	相談件数(件)	マイ支援センター登録者利用数(人)	相談件数(件)	マイ支援センター登録者利用数(人)	相談件数(件)	マイ支援センター登録者利用数(人)	相談件数(件)	マイ支援センター登録者利用数(人)	相談件数(件)			
計画(年度ごとの目標等)	・マイ支援センター登録者利用数(累計) 4,820人 ・相談件数 2,813件 ・実施園 10園	4,500	2,560	4,600	2,595	4,750	2,630	4,900	2,665	5,000			・マイ支援センター登録者利用数(累計) 5,000人 ・相談件数 2,700件 ・実施園 9園	
実績(値)		5,958	2,589	4,541	1,855	4,611	2,211	4,966	2,079	5,937				
達成率		132.4	101.1	98.7	71.5	97.1	84.1	101.3	78.0	118.7				
評価		A	A	A	B+	A	A	A	B+	A				
											5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率		118.7	A
5か年の総合評価に対する総括														
おおむね達成することができた。新型コロナウイルスの影響による利用者減が回復し、令和元年度と同水準になったため、目標値を上回った。子育て支援のニーズが高まっていることも考えられる。														

事業シート(事業番号)

項目	4	子育て支援事業の充実								目標達成のための取組	島田市子育て応援サイト等で情報を発信するとともに、母子保健部門と連携を図り、安心して子育てができるよう切れ目ない支援を行う。				担当課		
内容	地域子育て支援センター、育児サポーター派遣事業など、多様なニーズに対応した子育て支援事業を推進する。								子育て応援課								
事業	7	育児サポーター派遣事業															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	①	積み上げ評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023) ※目標(値)			
指標		実利用者(人)	相談件数(件)		実利用者(人)	相談件数(件)		実利用者(人)	相談件数(件)		実利用者(人)	相談件数(件)		実利用者(人)	相談件数(件)		
計画(年度ごとの目標等)		163	1170		165	1195		170	1220		175	1240		180	1260		
実績(値)	実利用者数 159人	128	810		92	710		124	841		111	770		140	1260		
達成率	相談件数 1148件	78.5	69.2		55.8	59.4		72.9	68.9		63.4	62.1		77.8			
評価		B+	B+		B	B		B+	B+		B+	B+		B+			
		73.9	B+		57.6	B		70.9	B+		62.8	B+		77.8	B+		
														5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率		77.8	B+
5か年の総合評価に対する総括																	
実利用者数と相談件数について、おおむね目標値に近づいてきている。実利用者数は目標値に至らなかったが、訪問数自体は令和5年度で1,164件あり、継続して利用している方が多くなっている。事業のニーズが高まっている中で、増加する訪問に対応しているが、当日キャンセルなども多く、実利用者を増やすことには苦慮している。																	

事業シート(事業番号)

項目	4	子育て支援事業の充実								目標達成のための取組	市内すべての小学校でペアレントサポーターによる親学講座を実施し、また、すべての家庭教育学級でペアレントサポーターによるつながるシートの学習会を行う。				担当課		
内容	ペアレントサポーターが市内小学校に出向き、保護者に対する講座を行う。								社会教育課								
事業	8	家庭教育支援事業															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023) ※目標(値)			
指標		親学開講数(校)	実施学級数(学級)		親学開講数(校)	実施学級数(学級)		親学開講数(校)	実施学級数(学級)		親学開講数(校)	実施学級数(学級)		親学開講数(校)	実施学級数(学級)		
計画(年度ごとの目標等)		18	18		18	18		17	17		17	17		17	17		
実績(値)	親学講座の実施 つながるシートの学習実施 18校	18	18		11	8		10	14		17	16		13	16		
達成率		100.0	100.0		61.1	44.4		58.8	82.4		100.0	94.1		76.5	94.1		
評価		A	A		B+	B		B	A		A	A		B+	A		
		100.0	A		52.8	B		70.6	B+		97.1	A		85.3	A		
														5か年の総合評価 ※評価の平均		81.1	A
5か年の総合評価に対する総括																	
親学講座・つながるシートともに、令和2～4年度についてはコロナ感染拡大の影響で開催数の減があった。5年度は学級閉鎖によりつながるシートの学習を中止した1学級を除き、全校実施できている。これらの講座は、通常の講座等と異なり講師が出向いていくため、すべての保護者が参加しやすい場となっている。																	

事業シート(事業番号)

項目	5	保育事業の充実						目標達成のための取組	待機児童をなくすための施策は継続し、保育の質を高める方法として、病児保育所を1箇所設置し、児童の病気期間中に仕事を休まなければならない親の負担を軽減する支援を行う。	担当課 保育支援課							
内容	延長保育、一時保育、病後児保育、放課後児童クラブ等、働く親を支援する保育サービスを推進する。																
事業	9	保育事業(量と質の確保) 児童健全育成事業															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023) ※目標(値)			
指標		待機児童割合(%)	病児保育施設数(箇所)		待機児童割合(%)	病児保育施設数(箇所)		待機児童割合(%)	病児保育施設数(箇所)		待機児童割合(%)	病児保育施設数(箇所)		待機児童割合(%)	病児保育施設数(箇所)		
計画(年度ごとの目標等)		0%	1		0%	1		0%	1		0%	1		0%	1		
実績(値)	保育所等の利用申込者数に対する待機児童数の割合(4月1日現在)	0.68%	0		0.14%	1		0%	1		0%	1		0%	1		
達成率	0%	99.32	0.0		89.47	100.0		100.00	100.0		100.00	100.0		100.00	100.0		
評価	0%	A	C		A	A		A	A		A	A		A	A		
	病児保育施設数 0箇所	49.7	B		94.7	A		100.0	A		100.0	A		100.0	A		
														5か年の総合評価 ※評価の平均		88.9	A
5か年の総合評価に対する総括																	
待機児童数の割合は令和3年度以降0%となり、病児保育施設は令和2年度に1箇所開設できたため、親の負担を軽減する支援を進めることができた。																	

事業シート(事業番号)

項目	5	保育事業の充実						目標達成のための取組	利用児童数の動向に合わせ、地域の社会福祉法人等の民間活用を含めた整備を進めていくとともに、事業目的に基づき必要度の高い児童の受け入れを優先する。また、不足する指導員は、ハローワークや民間求人誌等を活用するほか、近隣の高校、大学への求人募集を強化する。	担当課 子育て応援課							
内容	延長保育、一時保育、病後児保育、放課後児童クラブ等、働く親を支援する保育サービスを推進する。																
事業	10	放課後児童健全育成事業															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	③	削減指標評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023) ※目標(値)			
指標		待機児童割合			待機児童割合			待機児童割合			待機児童割合			待機児童割合			
計画(年度ごとの目標等)	利用申込者数 876人	0%			0%			0%			0%			0%			
実績(値)	待機児童数 7人	8.8%			7%			10%			6%			8%			
達成率	0.8%	91.2			93.1			90.4			94.0			92.0			
評価	0.8%	A			A			A			A			A			
		91.2	A		93.1	A		90.4	A		94.0	A		92.0	A		
														5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率		92.0	A
5か年の総合評価に対する総括																	
待機児童0の目標には届かなかったが、目標値におおむね近い達成率となった。但し、平成30年度に比べて令和5年度にかけて対象児童数は減少しているが申込率が上昇しつづけているため、申込者数が30%増加している。そのため、計画的に整備をすすめ総数ではみたしているが各学校区単位では待機児童が発生した。今後の需要予測では令和8年度をピークに申込者数が減少していくことが予想されているため、次期計画時には目標達成予定。																	

事業シート(事業番号)

項目	6	育児休業制度の周知、利用の啓発										目標達成のための取組	啓発情報紙/パレットや市ホームページ、広報しまだ等で育児休業制度利用の啓発を行う。	担当課			
内容	情報紙等で制度の周知を図る。													市民協働課			
事業	11	育児休業制度の周知、利用の啓発															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		情報紙や広報しまだへの記事掲載	ホームページ等での情報提供		情報紙や広報しまだへの記事掲載	ホームページ等での情報提供		情報紙や広報しまだへの記事掲載	ホームページ等での情報提供		情報紙や広報しまだへの記事掲載	ホームページ等での情報提供		情報紙や広報しまだへの記事掲載	ホームページ等での情報提供		
計画(年度ごとの目標等)		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		
実績(値)		1	0		0	1		0	1		0	1		1	1		
達成率	啓発情報紙パレットへの記事掲載 年1回	100.0	0.0		0.0	100.0		0.0	100.0		0.0	100.0		100.0	100.0		
評価		A	C		C	A		C	A		C	A		A	A		
		50.0	B		50.0	B		50.0	B		50.0	B		100.0	A		
														5か年の総合評価 ※評価の平均	60.0	B+	
5か年の総合評価に対する総括																	
<p>ホームページ等で育児休業制度(育児・介護休業法)についての記事を掲載し、目標は概ね達成できた。 また、令和5年度においては、市内の企業を対象に「男性の育休推進で働きやすい職場へ」という演題で講座を開催し、男性の育児休業制度の周知、利用の啓発を図った。</p>																	

事業シート(事業番号)

項目	7	市職員における育児休業制度の利用促進										目標達成のための取組	男性職員が育児休暇取得しやすい職場づくりをすすめる。	担当課			
内容	市が率先して男女とも育児休業制度を活用しやすい環境整備を行う。													人事課			
事業	12	市役所内への育児休業制度等の周知・利用促進															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	①	積み上げ評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		男性の育児休業取得者			男性の育児休業取得者			男性の育児休業取得者			男性の育児休業取得者			男性の育児休業取得者			
計画(年度ごとの目標等)	男性の育児休業取得者数(5年間の延べ人数)	1			2			3			4			5			
実績(値)		2			3			5			11			12			
達成率		200.0			150.0			166.7			275.0			240.0			
評価		A			A			A			A			A			
		200.0	A		150.0	A		166.7	A		275.0	A		240.0	A		
														5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率	240.0	A	
5か年の総合評価に対する総括																	
<p>男性の育児休業に関する情報(制度や手当金)の積極的な周知等により、目標値を上回った。</p>																	

事業シート(事業番号)

項目	8	家庭生活への男性の参画促進に関する啓発						目標達成のための取組	ワーク・ライフ・バランスをテーマとして、啓発情報紙/レットや市ホームページ、広報しまだでの啓発活動や講座等を開催する。	担当課 市民協働課			
内容	情報紙、講座等で家庭生活での役割分担の見直しにつながる情報提供や啓発を行う。												
事業	13	家庭生活への男性の参画促進に関する啓発											
■実績(値)・年度ごとの評価													
評価モデル	②	年度単位評価											
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		広報媒体への記事掲載数	講座参加者数	広報媒体への記事掲載数	講座参加者数	広報媒体への記事掲載数	講座参加者数	広報媒体への記事掲載数	講座参加者数	広報媒体への記事掲載数	講座参加者数		
計画(年度ごとの目標等)		1	50	1	50	1	50	1	50	1	50		
実績(値)	男性の家庭生活への参画促進についての記事掲載0回	1	29	1	18	1	18	0	48	1	13	啓発情報紙/レットや市ホームページ、広報しまだへの記事掲載年1回 ワークライフバランスに関する講座参加者数50人	
達成率	ワークライフバランスに関する講座参加者27人	100.0	58.0	100.0	36.0	100.0	36.0	0.0	96.0	100.0	26.0		
評価		A	B	A	B-	A	B-	C	A	A	B-		
										5か年の総合評価 ※評価の平均		65.2	B+
5か年の総合評価に対する総括													
毎年、男女共同参画に関する講座や座談会などの開催は行っているが、講座の参加者数は目標に達成していないため、今後は講座の周知方法などを工夫していく。令和5年度においては、市内の企業を対象に「男性の育児推進で働きやすい職場へ」という演題で講座を開催し、男性の育児休業制度の周知、利用の啓発を図った。													

事業シート(事業番号)

項目	9	男性が参加しやすい講座等の開催						目標達成のための取組	男性を対象とした料理教室やおやじの井戸端講座などを開催する。開催日について、男性でも参加しやすいよう配慮する。	担当課 社会教育課			
内容	男性の家事、育児、介護への参画を支援するため、参加しやすい講座等を開催する。												
事業	14	男の料理教室等の開催											
■実績(値)・年度ごとの評価													
評価モデル	②	年度単位評価											
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		開催箇所(箇所)	講座開催回数(回)	講座参加者数(人)	開催箇所(箇所)	講座開催回数(回)	講座参加者数(人)	開催箇所(箇所)	講座開催回数(回)	講座参加者数(人)	開催箇所(箇所)	講座開催回数(回)	講座参加者数(人)
計画(年度ごとの目標等)		8	50	700	8	50	700	8	50	700	8	50	700
実績(値)	・入門！男の料理教室(楽習センター)開催14回、参加延べ人数260人 ・男の料理教室	5	42	605	2	15	225	5	49	706	6	51	604
達成率	・男の料理教室 開催施設6施設、開催回数延29回、参加者延434人	62.5	84.0	86.4	25.0	30.0	32.1	62.5	98.0	100.9	75.0	102.0	86.3
評価	・おやじの井戸端講座 開催施設1施設、開催回数延2回、参加者延24人	B+	A	A	B-	B-	B-	B+	A	A	B+	A	A
										5か年の総合評価 ※評価の平均		74.5	B+
5か年の総合評価に対する総括													
令和5年度実績 ・入門！男の料理教室(楽習センター)開催18回、参加延べ人数251人 ・男の料理教室(六合公民館・初倉公民館・金谷公民館・大津農村環境改善センター)開催回数延26回、参加者延348人 ・おやじの井戸端講座(金谷公民館)開催施設1施設、開催回数延9回、参加者延127人 この5年間で講座の開催回数及び講座参加者数ともに伸びており、家事・育児等への意識の変化の表れが回数・参加者の増加につながった。													

事業シート(事業番号)

項目	9	男性が参加しやすい講座等の開催										目標達成のための取組	父親の参加しやすい土日及び平日夜間に講座を開催する。また、父親を主な対象とした講座を開催する。また、広報などで男性の参加呼びかけを行う。	担当課 社会教育課
内容	男性の家事、育児、介護への参画を支援するため、参加しやすい講座等を開催する。													
事業	15	父親も参加しやすい子育て講座の開催												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	②	年度単位評価												
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)		
指標		講座開催回数(回)	男性参加率(%)	講座開催回数(回)	男性参加率(%)	講座開催回数(回)	男性参加率(%)	講座開催回数(回)	男性参加率(%)	講座開催回数(回)	男性参加率(%)	講座開催回数(回)	男性参加率(%)	
計画(年度ごとの目標等)	・思春期の子をもつ親の講座の開催 開催数1回、参加人数延べ33人、内、父親7人	5	20%	5	20%	5	20%	5	20%	5	20%	5	20%	
実績(値)	・幼児、児童をもつ親の単発講座(休日講座)の開催 参加人数55人、内、父親8人	5	19.5%	4	24%	4	29%	5	17%	5	22%	・男性が参加しやすい(土日・夜間)日時での講座開催回数 5回		
達成率	※親子ふれあい講座はH30年度中止となった。	100.0	97.5	80.0	117.5	80.0	145.0	100.0	85.0	100.0	110.0	・男性参加率 20%以上		
評価		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A			
		98.8	A	98.8	A	112.5	A	92.5	A	105.0	A			
											5か年の総合評価 ※評価の平均		101.5	A
5か年の総合評価に対する総括														
講座の開催回数については、5年間で25回の計画に対し23回の開催実績があり、男性参加率については、各年20%の目標に対し5年間の平均参加率は目標値を上回る22.3%となっており、父親も参加しやすい子育て講座としては成果があったと考える。														

第3次島田市男女共同参画行動計画(令和元～5年度)実施計画書

基本情報(計画での位置づけ)

区分	1	あらゆる分野における女性の活躍推進
基本的施策	2	就労の場における女性の活躍推進

事業シート(事業番号)

項目	10	女性の就労や起業への支援	目標達成のための取組	子育てや働くことに対する不安の解消や再就職を支援するセミナーを開催する。就労・子育て・保育の相談のワンストップ化のため、ハローワークと連携し、職業相談窓口の運営を行う。	担当課
内容	ハローワーク等と連携して子育て中の女性に対し、就労、再就職を支援する。				商工課
事業	16	女性の就労機会の創出			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価												令和5年度(2023) ※目標(値)
		令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)				
指標	平成30年度(2018) ※現状(値)	セミナー参加者数(人)	開催回数	セミナー参加者数(人)	開催回数	セミナー参加者数(人)	開催回数	セミナー参加者数(人)	開催回数	セミナー参加者数(人)	開催回数	セミナー参加者数(人)	開催回数	
計画(年度ごとの目標等)		120	10	120	10	120	10	120	10	120	10	120	10	セミナー参加者数 120人 セミナー開催回数 10回
実績(値)	セミナー参加者数 104人 開催回数 4回	151	11	85	6	107	7	162	11	150	11			
達成率		125.8	110.0	70.8	60.0	89.2	70.0	135.0	110.0	125.0	110.0			
評価		A	A	B+	B+	A	B+	A	A	A	A			
		117.9	A	65.4	B+	79.6	B+	122.5	A	117.5	A			
												5か年の総合評価 ※評価の平均	100.6	A

5か年の総合評価に対する総括

令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によってセミナー回数を縮減せざるを得ない状況となり、回数及び参加者が計画通りに推移しなかった。その他の年度においては、目標値を上回っており、コロナ禍という特殊要因を考慮に入れて5か年を総合的に判断すれば、目標は達成できたと考え、既存の取組を見直しブラッシュアップしていくことで、引き続き女性の就労及び再就職の支援につなげていきたい。

事業シート(事業番号)

項目	10	女性の就労や起業への支援	目標達成のための取組	起業・創業に必要な知識(経営、財務、人材育成、販路開拓)を習得および創業計画の作成を目的としたセミナーを開催する。	担当課
内容	支援機関や商工団体等と連携して、起業に関するセミナーを開催する。				商工課
事業	17	起業セミナーの開催			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価												令和5年度(2023) ※目標(値)
		令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)				
指標	平成30年度(2018) ※現状(値)	セミナー満足度(%)		セミナー満足度(%)										
計画(年度ごとの目標等)		70%		65%		65%		65%		65%		65%		セミナー満足度 80%
実績(値)		75%		87%		87%		38%		73%				
達成率	セミナー満足度 80%	107.1		133.8		133.8		58.5		112.3				
評価		A		A		A		B		A				
		107.1	A	133.8	A	133.8	A	58.5	B	112.3	A			
												5か年の総合評価 ※評価の平均	109.1	A

5か年の総合評価に対する総括

全体では、高いセミナー満足度を維持しているが、令和4年度だけは目標値を下回る結果となった。これは、「財務」の回の講座理解度が低かったことによるもので、令和5年度は、令和4年度の反省を活かし、参加者がなるべく理解できるよう講座内容を工夫したことで、満足度を向上することができた。引き続き、参加者に満足いただけるように、更なる質の向上を目指していきたい。

事業シート(事業番号)

項目	11	総合評価競争入札の評価基準の加点制度の実施										目標達成のための取組	総合評価落札方式にて、「静岡県次世代育成支援企業認証制度(コウノトリカンパニー)」による認定の有無」の評価項目を取り込む。	担当課
内容	男女がともに働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる事業者に対し、総合評価競争入札において加点を行う制度を実施する。										契約検査課			
事業	18	総合評価競争入札における加点制度の導入												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	②	年度単位評価												
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)		
指標		入札実施件数(人)		入札実施件数(人)		入札実施件数(人)		入札実施件数(人)		入札実施件数(人)				
計画(年度ごとの目標等)		3		3		4		4		4			入札実施件数 年4件	
実績(値)		3		3		5		1		0				
達成率	入札実施件数 年4件	100.0		100.0		125.0		25.0		0.0				
評価		A		A		A		B-		C				
		100.0	A	100.0	A	125.0	A	25.0	B-	0.0	C			
											5か年の総合評価 ※評価の平均	70.0	B+	
5か年の総合評価に対する総括														
静岡県次世代育成支援企業として認証された事業所を総合評価競争入札における評価対象としており、男女共同参画社会の実現に寄与している。また、総合評価競争入札は、その方式に適した案件において行うものであるため、年度により入札件数に変動が生じることはやむを得ないと思われる。														

事業シート(事業番号)

項目	12	家族経営協定の締結促進										目標達成のための取組	経営移譲等の相談内容により家族経営協定の説明を行い、男女共同参画の意識を高めていく。	担当課
内容	農業経営において女性の就業条件を明確にするため、家族経営協定について啓発し、締結の促進をする。										農業振興課(農業委員会事務局)			
事業	19	家族経営協定の啓発・締結の促進												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	①	積み上げ評価												
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)		
指標		家族経営協定締結件数		家族経営協定締結件数		家族経営協定締結件数		家族経営協定締結件数		家族経営協定締結件数				
計画(年度ごとの目標等)	家族経営協定締結件数(件)	86		88		90		92		94			家族経営協定締結件数(件) 94	
実績(値)		87		89		90		100		104				
達成率		101.2		101.1		100.0		108.7		110.6				
評価		A		A		A		A		A				
		101.2	A	101.1	A	100.0	A	108.7	A	110.6	A			
											5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率	110.6	A	
5か年の総合評価に対する総括														
農業経営改善計画の認定申請をしている家族に対し、令和4年度に家族経営協定締結の見直しを行ったため締結件数を増やすことができた。今後も認定申請に合わせ、家族経営協定の締結を推進していきたい。														

事業シート(事業番号)

項目	13	大学生と事業所との就職情報交流						目標達成のための取組	藤枝市・焼津市の行政及び商工会議所、商工会と連携し、ガイダンスを開催する。大学を訪問し、チラシやポスターの掲示等の協力を要請する。SNSを活用し、学生が参加しやすい環境を整える。						担当課
内容	近隣市と合同で大学生向け就職説明会を開催し、若者の就労支援を行う。						工商課								
事業	20	島田市・藤枝市・焼津市合同企業ガイダンスの開催													
■実績(値)・年度ごとの評価															
評価モデル	②	年度単位評価													
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)			
指標		参加企業数(社)	参加学生数(人)	参加企業数(社)	参加学生数(人)	参加企業数(社)	参加学生数(人)	参加企業数(社)	参加学生数(人)	参加企業数(社)	参加学生数(人)	参加企業数(社)	参加学生数(人)		
計画(年度ごとの目標等)		50	100	50	100	50	100	50	100	50	100	50	100		
実績(値)	参加企業数67社 参加学生数100人	59	83	0	0	35	72	33	75	23	21	参加企業数50社 参加学生数100人			
達成率		118.0	83.0	0.0	0.0	70.0	72.0	66.0	75.0	46.0	21.0				
評価		A	A	C	C	B+	B+	B+	B+	B	B-				
		100.5	A	0.0	C	71.0	B+	70.5	B+	33.5	B-				
5か年の総合評価 ※評価の平均											55.1	B			
5か年の総合評価に対する総括															
コロナ過の影響もあり、開催方法をオンライン方式で開催するなど参加しやすい環境づくりに努めたが、毎年目標達成するには至らなかった。事前予約が必要なガイダンスであるが、手軽に申込参加できるオンラインでの開催故に、申込をしたが当日キャンセル(不参加)となる学生が少なからず見受けられたことから、今後開催方法について分析・検討する必要がある。															

事業シート(事業番号)

項目	14	事業主・人事担当者に対するポジティブ・アクションに関する情報の提供						目標達成のための取組	啓発情報紙/パレットや市ホームページでポジティブ・アクションの情報提供を行う。						担当課
内容	事業所等における女性職員の能力発揮を促進するための取組方法に関する情報を提供する。						市民協働課								
事業	21	事業所等における女性職員の能力発揮の促進についての取組方法に関する周知													
■実績(値)・年度ごとの評価															
評価モデル	②	年度単位評価													
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)			
指標		広報媒体への掲載		広報媒体への掲載		広報媒体への掲載		広報媒体への掲載		広報媒体への掲載		広報媒体への掲載			
計画(年度ごとの目標等)		2		2		2		2		2		情報紙に掲載1回、ホームページに1回掲載、計2回告知する			
実績(値)	取り組み事例を紹介する機会0回	1		1		1		1		1					
達成率		50.0		50.0		50.0		50.0		50.0					
評価		B		B		B		B		B					
		50.0	B	50.0	B	50.0	B	50.0	B	50.0	B				
5か年の総合評価 ※評価の平均											50.0	B			
5か年の総合評価に対する総括															
県内企業の女性活躍推進への取組について、ホームページには掲載した。情報紙/パレットへの掲載はできなかったため、今後はWEB版/まだばれっとへの掲載についても行っていく。															

事業シート(事業番号)

項目	15	セクシュアル・ハラスメント等の防止の推進	目標達成のための取組	啓発情報紙/パレットや市ホームページで情報提供や啓発を行う。	担当課
内容	企業、団体等に向けて、セクシュアル・ハラスメント等の防止について、啓発を行う。				
事業	22	セクシュアル・ハラスメント等の防止の啓発事業			市民協働課

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価											
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		情報紙や広報しただでの情報掲載	ホームページでの情報提供										
計画(年度ごとの目標等)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
実績(値)	セクシュアル・ハラスメントに限らず、女性への暴力についての記事を啓発情報紙/パレットに掲載1回	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	啓発情報紙や広報しただでの啓発週間などの啓発情報掲載1回 ホームページでの情報提供1回	
達成率		0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
評価		C	A	A	A	A	A	A	A	A	A		
											5か年の総合評価 ※評価の平均	90.0	A

5か年の総合評価に対する総括

セクシュアル・ハラスメントや女性への暴力についての記事をパレットやホームページ等に掲載した。
※女性相談に関わるお知らせ、若年層への性暴力防止や女性に対する暴力の啓発など

事業シート(事業番号)

項目	16	セクシュアル・ハラスメント等の防止に関する庁内体制の整備	目標達成のための取組	職員相談員の役割や存在意義、研修会の趣旨を説明し、充分な理解を得た上で制度を運用する。	担当課
内容	市職員や教職員に対し、セクシュアル・ハラスメント等の防止の研修会を実施する。また、被害者の相談体制の整備を行う。				
事業	23	セクハラ・パワハラ防止研修会の開催と相談員の配置			人事課

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価											
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		職員相談員数(人)	研修実施回数(回)										
計画(年度ごとの目標等)		15	1	15	1	15	1	15	1	15	1		
実績(値)	職員相談員数(人) 15人	17	1	17	1	17	1	17	0	17	1	職員相談員数(人) 15人 ハラスメント研修開催回数(回) 1回	
達成率	ハラスメント研修開催回数(回) 1回	113.3	100.0	113.3	100.0	113.3	100.0	113.3	0.0	113.3	100.0		
評価		A	A	A	A	A	A	A	C	A	A		
											5か年の総合評価 ※評価の平均	96.7	A

5か年の総合評価に対する総括

職員相談員は過去の相談実績やその時々状況に応じて必要人数を設置している。様々な年齢や階層の職員を相談員に任命することで、相談体制を維持している。また、ハラスメント防止研修は令和4年度は年度後半に予定していたが、研修効果をより高めるために翌年度当初に見送って開催した。この他は計画通りに進めることができた。

事業シート(事業番号)

項目	16	セクシュアル・ハラスメント等の防止に関する庁内体制の整備										目標達成のための取組	研修会の開催 研修会に参加できない職員のために、研修会の内容を保存したDVDを貸し出したり、電子カルテ掲示板を使ったe-ラーニングを実施する。	担当課 総合医療センター 病院総務課			
内容	市職員や教職員に対し、セクシュアル・ハラスメント等の防止の研修会を実施する。また、被害者の相談体制の整備を行う。																
事業	24	セクハラ・パワハラ防止研修会の開催															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		セミナー参加者数(人)			セミナー参加者数(人)			セミナー参加者数(人)			セミナー参加者数(人)			セミナー参加者数(人)			
計画(年度ごとの目標等)		150			150			150			150			150			
実績(値)		131			100			499			400			591			
達成率	研修参加70人	87.3			66.7			332.7			266.7			394.0			
評価		A			B+			A			A			A			
		87.3	A		66.7	B+		332.7	A		266.7	A		394.0	A		
															5か年の総合評価 ※評価の平均	229.5	A
5か年の総合評価に対する総括																	
医療機関という特殊性から、コロナ下での集合研修定員が制限される状況が続いていたが、電子カルテのポータルサイトを使ったe-ラーニングやWEBを活用したオンデマンド研修を導入することで計画を上回る参加を得ることができた。																	

事業シート(事業番号)

項目	16	セクシュアル・ハラスメント等の防止に関する庁内体制の整備										目標達成のための取組	研修会にて委員会や相談窓口の周知を図る。委員会にて進捗状況を確認する。	担当課 総合医療センター 病院総務課			
内容	市職員や教職員に対し、セクシュアル・ハラスメント等の防止の研修会を実施する。また、被害者の相談体制の整備を行う。																
事業	25	ハラスメント対策委員会の運営															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	③	削減指標評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		認定件数	申立件数		認定件数	申立件数		認定件数	申立件数		認定件数	申立件数		認定件数	申立件数		
計画(年度ごとの目標等)		0	2		0	2		0	2		0	2		0	2		
実績(値)	申立件数3件 認定件数1件	0	2		0	3		0	1		0	0		0	1		
達成率		100.0	100.0		100.0	150.0		100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	50.0		
評価		A	A		A	A		A	A		A	A		A	B		
		100.0	A		125.0	A		100.0	A		100.0	A		75.0	B+		
															5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率	75.0	B+
5か年の総合評価に対する総括																	
ハラスメント申立件数が一定程度あることから、相談から申し立て(認定)、対象者への指導等、一連の体制が機能しているものと判断できる。(R4については申し立て自体が無かったため達成率100%となった)																	

事業シート(事業番号)

項目	16	セクシュアル・ハラスメント等の防止に関する庁内体制の整備								目標達成のための取組	管理職は、不祥事根絶について自校職員に周知し、セクシュアルハラスメント防止のための工夫を行う。 各校セクシュアル・ハラスメント等についての相談員を置く。(各校一人以上)				担当課
内容	市職員や教職員に対し、セクシュアル・ハラスメント等の防止の研修会を実施する。 また、被害者の相談体制の整備を行う。								学校教育課						
事業	26	教職員研修会の開催と相談員の配置													
■実績(値)・年度ごとの評価															
評価モデル	②	年度単位評価													
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)			
指標		研修実施率	相談員配置率	研修実施率	相談員配置率	研修実施率	相談員配置率	研修実施率	相談員配置率	研修実施率	相談員配置率	研修実施率	相談員配置率		
計画(年度ごとの目標等)		100	100%	100	100%	100	100%	100	100%	100	100%	100	100%		
実績(値)		100	100%	100	100%	100	100%	100	100%	100	100%	100	100%		
達成率	全小中学校 実施率100% 相談員配置率 100%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
評価		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A		
		100.0	A	100.0	A	100.0	A	100.0	A	100.0	A	100.0	A		
											5か年の総合評価 ※評価の平均		100.0	A	
5か年の総合評価に対する総括															
目標は、達成できた。各校にセクシュアル・ハラスメント等の相談員を置いた。また、管理職がセクシュアル・ハラスメント防止のために研修等を確実に行った。今後も、引き続き継続する。															

第3次島田市男女共同参画行動計画(令和元～5年度)実施計画書

基本情報(計画での位置づけ)

区分	I	あらゆる分野における女性の活躍推進
基本的施策	3	政策・方針決定過程への女性の参画拡大

事業シート(事業番号)

項目	17	市の審議会等への女性委員の登用促進	目標達成のための取組	様々な分野で活躍する女性の人材情報を活用する。	担当課
内容	市の審議会等への女性委員の登用率の向上を目指す。				
事業	27	審議会等における女性委員の登用率の向上			全庁

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	①	積み上げ評価																				
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)				令和2年度(2020)				令和3年度(2021)				令和4年度(2022)				令和5年度(2023)				令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		女性登用率		女性登用率		女性登用率		女性登用率		女性登用率		女性登用率		女性登用率		女性登用率						
計画(年度ごとの目標等)	審議会等における女性委員の登用率	27%		28%		29%		30%		30%		30%		30%		30%		女性委員の登用率				
実績(値)		26.9%		29.5%		29%		31%		30%		30%		30%		30%						
達成率		99.6		105.4		101.4		101.7		99.7		99.7		99.7		99.7						
評価	26%	A		A		A		A		A		A		A		A		30%				
		99.6	A	105.4	A	101.4	A	101.7	A	101.7	A	99.7	A	99.7	A	99.7	A					
																5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率	99.7	A				

5か年の総合評価に対する総括

審議会等における女性委員の登用率の調査結果を庁内会議で共有し、女性委員の登用についての意識啓発を行った。実績については、令和5年度は30%となり、目標値をわずかに達成できなかった。今後も女性委員の登用率向上を目指し、意識啓発を継続していく。

事業シート(事業番号)

項目	18	市政、審議会等への女性の登用状況調査の実施	目標達成のための取組	審議会等における女性委員の登用率が上昇しない所属に対して調査を年1回実施し、課題を明確し、男女のバランスに配慮した構成になるよう担当課に働きかけを行う。	担当課
内容	市政、審議会等への女性の登用状況の調査を実施し、その結果を公表する。				
事業	28	女性の登用状況調査及び登用の進まない分野の聞き取り調査・公表・分析			市民協働課

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価																				
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)				令和2年度(2020)				令和3年度(2021)				令和4年度(2022)				令和5年度(2023)				令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		調査結果公表	登用率低い理由調査	調査後にアヒアリング	調査結果公表	登用率低い理由調査	調査後にアヒアリング	調査結果公表	登用率低い理由調査	調査後にアヒアリング	調査結果公表	登用率低い理由調査	調査後にアヒアリング	調査結果公表	登用率低い理由調査	調査後にアヒアリング	調査結果公表	登用率低い理由調査	調査後にアヒアリング			
計画(年度ごとの目標等)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
実績(値)	女性の登用状況調査について、ホームページで公表している。聞き取り調査等は行っていない。	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0			
達成率		100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0			
評価		A	A	C	A	A	C	A	A	C	A	A	C	A	A	C	A	A	C			
		66.7		B+	66.7		B+	66.7		B+	66.7		B+	66.7		B+	66.7		B+			
																5か年の総合評価 ※評価の平均	66.7	B+				

5か年の総合評価に対する総括

登用率の調査を毎年実施した。調査では女性委員の登用率と合わせて、登用率が低い所属には理由や取組みについての調査を行った。ヒアリングは実施していないが、男女共同参画の組織会議にて、調査結果を共有。課題や取組みについても委員へ周知し、女性登用を呼びかけるきっかけとしている。

事業シート(事業番号)

項目	19	女性職員の管理・監督者への登用促進						目標達成のための取組	男性職員の育児参加を促進するため休暇制度の拡充し、家庭における女性の負担軽減を図る。 育児休業等から円滑に職場復帰できるよう慣らし勤務制度やテレワークの活用等により支援する。	担当課			
内容	管理・監督者への女性の登用を積極的に行う。												
事業	29	管理職(係長職含む。)への能力、適性に応じた登用											
■実績(値)・年度ごとの評価													
評価モデル	①	積み上げ評価											
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		女性の登用率		女性の登用率		女性の登用率		女性の登用率		女性の登用率			
計画(年度ごとの目標等)	係長職以上の女性の登用率(%)	20.0%		21.0%		22.0%		23.0%		24.6%		係長職以上の女性の登用率(%)	
実績(値)		20.3%		23.7%		24.9%		24.1%		26.3%			
達成率		101.5		112.9		113.2		104.8		106.9			
評価	18.4%	A		A		A		A		A		24.6%	
		101.5	A	112.9	A	113.2	A	104.8	A	106.9	A		
										5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率		106.9	A
5か年の総合評価に対する総括													
将来に向けて女性登用率を高めていくため、キャリア形成を意識した研修を受講させる他、性別に関係なく適正な人事配置を行った結果、目標を達成することができた。													

事業シート(事業番号)

項目	20	女性職員の研修実施						目標達成のための取組	職員の自主性を尊重するため、公募により研修受講者を募集し、応募が定員に満たない場合は指名により受講者を選考するが、男女バランスよく受講者を選考し、5年間を通じた女性職員受講率30%以上を達成する。	担当課			
内容	女性職員の職域の拡大や業務遂行能力の向上を図るため、女性職員に対する研修を実施する。												
事業	30	女性職員の資質、能力向上を目的とした研修											
■実績(値)・年度ごとの評価													
評価モデル	②	年度単位評価											
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		女性職員の受講率		女性職員の受講率		女性職員の受講率		女性職員の受講率		女性職員の受講率			
計画(年度ごとの目標等)	研修の女性職員の受講率(%)	30.0%		30.0%		30.0%		30.0%		30.0%		研修の女性職員の受講率(%) 30.0%	
実績(値)		37.2%		41.6%		29.4%		41.4%		40.5%			
達成率	32.1%	124.1		138.6		97.9		138.0		135.0			
評価	32.1%	A		A		A		A		A			
		124.1	A	138.6	A	97.9	A	138.0	A	135.0	A		
										5か年の総合評価 ※評価の平均		126.7	A
5か年の総合評価に対する総括													
階層別研修や定員に満たない研修は、男女比が偏ることのないよう配慮し指名した結果、ほとんどの年度において目標値を上回ることができた。													

事業シート(事業番号)

項目	21	自治会役員への女性の登用促進										目標達成のための取組	女性の役員を継続登用する自治会への補助金制度の周知や、男女共同参画事業の周知により地域における男女共同参画推進を図る。	担当課 市民協働課			
内容	自治会役員へ女性の登用を促進するよう啓発を行う。																
事業	31	自治推進委員への啓発															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	①	積み上げ評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		女性役員を登用した自治会数			女性役員を登用した自治会数			女性役員を登用した自治会数			女性役員を登用した自治会数			女性役員を登用した自治会数			
計画(年度ごとの目標等)	女性の役員(会長及び副会長)を登用した自治会数(全68自治会中)	4			8			12			16			20			女性の役員(会長、副会長及び会計)を登用した自治会数(全68自治会中)
実績(値)		6			10			14			13			6			
達成率		150.0			125.0			116.7			81.3			30.0			
評価	3	A			A			A			A			B-			20
		150.0	A		125.0	A		116.7	A		81.3	A		30.0	B-		
														5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率		30.0	B-
5か年の総合評価に対する総括																	
女性登用に対する補助や研修等の機会を利用し、女性の地域活動参画の重要性について周知したが、役員の選出は地域によって輪番制等のルールがあることから、実績が伴わなかった。ただし、自治会役員に女性がいない場合でも各自自治会が地域活動における女性の意見等の収集・反映は進んできている。																	

事業シート(事業番号)

項目	22	コミュニティ組織等の役員への女性の登用促進										目標達成のための取組	会議等の場を利用し、役員への女性登用促進の啓発を行う。	担当課 市民協働課			
内容	コミュニティ組織等の役員へ女性の登用を促進するよう啓発を行う。																
事業	32	各団体等へ女性の登用促進の啓発															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	①	積み上げ評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		女性役員の登用率			女性役員の登用率			女性役員の登用率			女性役員の登用率			女性役員の登用率			
計画(年度ごとの目標等)	役員への女性の登用率(団体全体)(%)	18%			21%			24%			27%			30%			役員への女性の登用率(団体全体)(%)
実績(値)		14%			14%			13%			15%			14%			
達成率		77.8			66.7			54.2			55.6			46.3			
評価	15	B+			B+			B			B			B			30
		77.8	B+		66.7	B+		54.2	B		55.6	B		46.3	B		
														5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率		46.3	B
5か年の総合評価に対する総括																	
研修会において、女性の地域活動参画の重要性について周知した。また、会議の際に女性役員の登用を啓発したが、役員の選出は地域によって輪番制等のルールがあることから、実績が伴わなかった。しかし、各地区コミュニティ委員会では、女性の意見を聞いたり、会議開催時に託児を設置したり、事業の開催時間を考慮するなど、女性の地域活動参画を促進するため工夫を始めている。																	

事業シート(事業番号)

項目	23	男女の均衡のとれたPTA役員体制の促進						目標達成のための取組	女性登用促進について呼びかけをするとともに、活動しやすい体制を整えていく。	担当課							
内容	PTA役員へ男女の偏りがないような選出を図る。						学校教育課										
事業	33	PTA役員への女性の登用促進															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		女性登用率		女性登用率		女性登用率		女性登用率		女性登用率		女性登用率					
計画(年度ごとの目標等)		50%		50%		50%		50%		50%		50%				PTA役員の女性比率 毎年50%	
実績(値)	PTA役員の女性比率 毎年50%	50%		50%		50%		50%		50%		50%					
達成率		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0					
評価		A		A		A		A		A		A					
												5か年の総合評価 ※評価の平均		100.0	A		
5か年の総合評価に対する総括																	
目標は達成できた。しかし、PTA役員選出は、最終的には家庭内の判断による。そのため、男女の偏りを学校が調整するのは難しいと考える。																	

事業シート(事業番号)

項目	24	女性リーダー育成のための学習機会の提供						目標達成のための取組	市政や社会問題などについて学習し政策・方針決定過程の場合へ参画できる女性リーダーを育成する。	担当課							
内容	市政や社会問題などについて学習し、政策・方針決定の場合へ参画できる女性リーダーを育成するため、学習機会を提供する。						市民協働課										
事業	34	女性議会や人材育成講座等の開催															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		講座参加者	女性議会参加率	講座参加者	女性議会参加率	講座参加者	女性議会参加率	講座参加者	女性議会参加率	講座参加者	女性議会参加率	講座参加者	女性議会参加率				
計画(年度ごとの目標等)	女性の人材育成講座/話し方講座	30	80%	30	80%	30	80%	30	80%	30	80%	30	80%			女性の人材育成に関する講座参加者 30人 女性議会参加率(定員に占める割合) 80%	
実績(値)	1月19日、2月2日開催 ところ プラザ おおるり	40	100%	17	50%	18	100%	48	83%	35	100%						
達成率	講師 フリーアナウンサー原田裕見子氏 参加者数 15人	133.3	125.0	56.7	62.5	60.0	125.0	160.0	103.8	116.7	125.0						
評価	女性議会参加者数8人(定員8人)	A	A	B	B+	B+	A	A	A	A	A						
												5か年の総合評価 ※評価の平均		106.8	A		
5か年の総合評価に対する総括																	
令和5年度については、女性議会は5人募集し、5人参加。また、人材育成講座の代わりに過去の女性議会参加者による交流会を開催した。交流会では、過去の女性議会登壇者14人に加え、静岡県立大学の学生が16人参加しワークショップを行った。5年間を通して、女性の人材育成を目指すため女性議会などの取組みを行った。今後も、人材育成の取組をより効果的にしていくために新しい取組を検討していく。																	

事業シート(事業番号)

項目	24	女性リーダー育成のための学習機会の提供						目標達成のための取組	女性の受講者を増やし、講座受講者を市で登録することで、自主防災会役員の補佐や個別指導などの活動につながるよう実施する。	担当課		
内容	地域の自主防災組織における女性リーダーを育成する。						危機管理課					
事業	35	地域防災リーダー養成講座の開催										
■実績(値)・年度ごとの評価												
評価モデル	②	年度単位評価										
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		女性受講割合(%)		女性受講割合(%)		女性受講割合(%)		女性受講割合(%)		女性受講割合(%)		
計画(年度ごとの目標等)	女性受講割合 10.7%	10		10		10		10		10		女性受講割合 10%
実績(値)		10.7		5.2		16.6		0		16		
達成率		107.0		52.0		166.0		0.0		160.0		
評価		A		B		A		C		A		
		107.0	A	52.0	B	166.0	A	0.0	C	160.0	A	
										5か年の総合評価 ※評価の平均	97.0	A
5か年の総合評価に対する総括												
令和4年までは各自主防からの選出を依頼しており、参加いただける女性はまばらだった。令和5年は防災について知見を持った市民を増やすため市内の高校へ通知し、6名の高校生が参加した。(うち、4名が女性) 災害は年齢や所属にかかわらずいつおきるかわからないため今後も高校生など自主防以外へも周知を行っていく。												

第3次島田市男女共同参画行動計画(令和元～5年度)実施計画書

基本情報(計画での位置づけ)

区分	I	あらゆる分野における女性の活躍推進
基本的施策	4	地域における男女共同参画の推進

事業シート(事業番号)

項目	25	各自治会から推薦される各種委員への女性の登用の啓発	目標達成のための取組	自治推進委員連絡会議の場で、委員選出依頼の時期に併せて啓発する。	担当課
内容	各自治会が選出する委員等において、その構成がどちらかの性に偏ることのないよう、固定的な役割分担意識を払拭するよう啓発を行う。				
事業	36	各委員会等における女性の登用についての啓発			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価												令和5年度(2023) ※目標(値)
		令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)				
指標	平成30年度(2018) ※現状(値)	自治推進委員連絡会議での啓発	情報交換会での周知・啓発	自治推進委員連絡会議での啓発	情報交換会での周知・啓発									
計画(年度ごとの目標等)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
実績(値)	会議等の場で啓発は行わなかった啓発実施0回	1	0	1	0	1	1	2	1	1	1	1	1	
達成率		100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	200.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
評価		A	C	A	C	A	A	A	A	A	A	A	A	
		50.0	B	50.0	B	100.0	A	150.0	A	100.0	A			
												5か年の総合評価 ※評価の平均	90.0	A

5か年の総合評価に対する総括

自治推進委員連絡会議で補助制度の説明や自治会連合会と連携し多様な人材の登用について研修した。自治会としても女性参画は重要との認識であるが、委員選出にあたり、世帯内の役割意識により男性が担う現状があるため、継続して啓発していく必要がある。

事業シート(事業番号)

項目	26	地域活動における男女共同参画意識の醸成	目標達成のための取組	防犯まちづくり団体への女性の活動推進に対し、継続的な啓発を図っていく。	担当課
内容	防犯、交通安全等の地域の安全活動への女性の参加の促進を図る。				
事業	37	島田市地域防犯まちづくり団体の活動への女性の参加促進			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価												令和5年度(2023) ※目標(値)
		令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)				
指標	平成30年度(2018) ※現状(値)	女性参加率		女性参加率		女性参加率		女性参加率		女性参加率		女性参加率		
計画(年度ごとの目標等)		30%		30%		30%		30%		30%		30%		
実績(値)	自治会防犯団体への女性参加率17.4%	17%		16.60%		18.10%		20.22%		16.40%		16.40%		
達成率		56.7		55.3		60.3		67.4		54.7		54.7		
評価		B		B		B+		B+		B		B		
		56.7	B	55.3	B	60.3	B+	67.4	B+	54.7	B			
												5か年の総合評価 ※評価の平均	58.9	B

5か年の総合評価に対する総括

令和元年度から令和4年度までは、女性の参加率は増加となった。令和5年度は微減となったが、全体を通じて少しずつではあるが女性の参画が促進されているものとする。

事業シート(事業番号)

項目	27	男女共同参画啓発活動実施グループの育成、支援										目標達成のための取組	市民活動センターへ登録のある団体の活動について、情報提供、協力、助言をしていく。	担当課			
内容	男女共同参画に関する啓発活動を実施するグループを育成、支援する。										市民協働課						
事業	38	男女共同参画啓発活動実施グループの育成、支援															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		グループへの情報提供		グループへの情報提供		グループへの情報提供		グループへの情報提供		グループへの情報提供		グループへの情報提供					
計画(年度ごとの目標等)		2			2			2			2			2			
実績(値)		2			2			2			2			2			
達成率	公民館や市民活動センターへ各種案内等を配架した。	100.0			100.0			100.0			100.0			100.0			
評価		A			A			A			A			A			
		100.0	A		100.0	A		100.0	A		100.0	A		100.0	A		
												5か年の総合評価 ※評価の平均	100.0	A			
5か年の総合評価に対する総括																	
公民館や市民活動センターへ、講座やセミナーのチラシを配布したほか、県からの啓発関連のリーフレットなども配布した。																	

事業シート(事業番号)

項目	28	地域の防災活動における女性の登用促進										目標達成のための取組	女性消防団員入団の促進を図るため、引き続き勧誘活動を行っていく。	担当課			
内容	県の防災指導員への女性の登録や女性消防団員入団の促進を図る。										危機管理課						
事業	39	島田市消防団への女性消防団員の入団促進															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	①	積み上げ評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		女性消防団員数(人)		女性消防団員数(人)		女性消防団員数(人)		女性消防団員数(人)		女性消防団員数(人)		女性消防団員数(人)					
計画(年度ごとの目標等)	女性消防団員数(人)	14			15			16			17			18			
実績(値)		10			9			9			10			9			
達成率		71.4			60.0			56.3			58.8			50.0			
評価		B+			B+			B			B			B			
	14	71.4	B+		60.0	B+		56.3	B		58.8	B		50.0	B		
												5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率	50.0	B			
5か年の総合評価に対する総括																	
団員数を増やすことはできなかったが、今後も引き続き加入促進活動を実施していく。 ・増やすことができなかった理由として、女性分団そのものの認知度の低さや活躍の場の少なさが原因であると考えている。 ・加入促進活動として、産業祭等のイベントでのPR活動、全国女性消防団員活性化大会へのPRブース出展を実施していく。																	

事業シート(事業番号)

項目	29	避難所運営会議等への女性の参画促進						目標達成のための取組	委員構成の見直しや、女性が参加しやすい会議開催日時等について配慮していただくよう、会議の運営主体である避難所運営本部(自主防災組織)に依頼する。	担当課		
内容	避難所運営に男女共同参画の視点を反映させるため、女性の参画を促進する。						危機管理課					
事業	40	避難所運営会議等への女性の登用促進										
■実績(値)・年度ごとの評価												
評価モデル	②	年度単位評価										
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		女性参加割合(%)		女性参加割合(%)		女性参加割合(%)		女性参加割合(%)		女性参加割合(%)		
計画(年度ごとの目標等)		30		30		30		30		30		避難所運営会議への女性参加割合 30%
実績(値)	避難所運営会議への女性参加割合 13.8%	16.9		11.8		10.4		14.8		15.3		
達成率		56.3		39.3		34.7		49.3		51.0		
評価		B		B-		B-		B		B		
		56.3	B	39.3	B-	34.7	B-	49.3	B	51.0	B	
										5か年の総合評価 ※評価の平均	46.1	B
5か年の総合評価に対する総括												
微増にとどまり目標値には到達できなかったため、引き続き避難所運営会議や出前講座を通して女性の登用の重要性等の周知・啓発を行っていく。												

事業シート(事業番号)

項目	30	防災活動における男女共同参画意識の醸成						目標達成のための取組	女性が参加しやすい開催日時や場所等について配慮する。また、一定の人数が集まる女性グループと場所があれば、講師を派遣し教室を開催する。	担当課		
内容	防災活動に男女共同参画の視点を反映させるため、女性の参画を促進する。						危機管理課					
事業	41	島田市防災教室への女性の参画促進										
■実績(値)・年度ごとの評価												
評価モデル	②	年度単位評価										
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		女性受講割合(%)		女性受講割合(%)		女性受講割合(%)		女性受講割合(%)		女性受講割合(%)		
計画(年度ごとの目標等)		50		50		50		50		50		島田市防災教室への女性受講割合 50%
実績(値)	島田市防災教室への女性受講割合 39.3%	59.8		53.8		80.4		65.4		76.8		
達成率		119.6		107.6		160.8		130.8		153.6		
評価		A		A		A		A		A		
		119.6	A	107.6	A	160.8	A	130.8	A	153.6	A	
										5か年の総合評価 ※評価の平均	134.5	A
5か年の総合評価に対する総括												
計画実施期間のすべての年度において目標値を達成した。令和5年度は、市内の保育園に呼びかけを行った結果、女性受講者が増加した。引き続き、女性の参画推進に取り組んでいく。												

第3次島田市男女共同参画行動計画(令和元～5年度)実施計画書

基本情報(計画での位置づけ)

区分	Ⅱ	安全・安心な暮らしの実現
基本的施策	5	生涯を通じた男女の健康支援

事業シート(事業番号)

項目	31	性別、年齢に応じた各種検診等の推進	目標達成のための取組	託児実施日を設けたり、国庫補助事業を活用し、受診動員を積極的にを行い、受診者数の向上に取り組む。	担当課
内容	性別、年齢に応じた各種がん検診等を実施し、健康支援を行う。				
事業	42	がん検診事業			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価															令和5年度(2023) ※目標(値)
		令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			
指標	平成30年度(2018) ※現状(値)	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん													
計画(年度ごとの目標等)	各がん検診受診率 胃がん13.0%(男14.7%、女12.0%)、大腸がん30.8%(男29.5%、女31.7%)、肺がん30.6%(男29.2%、女31.6%)、乳がん38.0%(女のみ)、子宮頸がん32.4%(女のみ)、前立腺がん27.3%(男のみ)	40	45	30	40	45	30	40	45	30	40	45	30	40	45	30	
実績(値)		32.1	38.5	27.3	32.4	38	26.3	30.9	37.5	26.6	31.6	38.8	26.9	29.7	36.8	25.9	
達成率		80.3	85.6	91.0	81.0	84.4	87.7	77.3	83.3	88.7	79.0	86.2	89.7	74.3	81.8	86.3	
評価		A	A	A	A	A	A	B+	A	A	B+	A	A	B+	A	A	
		85.6	A			84.4	A			83.1	A			85.0	A		
5か年の総合評価 ※評価の平均															83.8	A	

5か年の総合評価に対する総括

コロナ禍であったが関係団体等と連携し、様々な機会にがんに関する知識の啓発や検診の受診動員を行った。特に若い世代の罹患率が高い乳がん・子宮頸がんを重点項目として、レディース検診や託児日を設定し、LINEやYouTubeなどデジタルを活用した受診動員にも取り組んだ。目標の達成には至らなかったが総合では80%以上の達成率となった。

事業シート(事業番号)

項目	32	男女の健康相談体制の充実	目標達成のための取組	各年齢層に応じた相談を実施する。食生活相談、健康相談の実施	担当課
内容	生活習慣など健康に関する各種相談を実施し、健康支援を行う。				
事業	43	男女の健康相談体制の充実			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価															令和5年度(2023) ※目標(値)
		令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			
指標	平成30年度(2018) ※現状(値)	健康の日健康相談	依頼の健康相談	食生活相談	健康の日健康相談	依頼の健康相談	食生活相談	健康相談	依頼の健康相談	食生活相談	健康相談	依頼の健康相談	食生活相談	健康相談	依頼の健康相談	食生活相談	
計画(年度ごとの目標等)	健康の日健康相談15回294人 依頼の健康相談27回1810人 食生活相談24回74人	150	1000	74	150	1000	74	150	1000	74	150	1000	74	150	1000	74	
実績(値)		153	945	164	70	95	76	110	0	75	118	230	79	194	263	107	
達成率		102.0	94.5	221.6	46.7	9.5	102.7	73.3	0.0	101.4	78.7	23.0	106.8	129.3	26.3	144.6	
評価		A	A	A	B	C	A	B+	C	A	B+	B-	A	A	B-	A	
		139.4	A			53.0	B			58.2	B			69.5	B+		
5か年の総合評価 ※評価の平均															84.0	A	

5か年の総合評価に対する総括

5か年の総合評価としては、コロナ禍であり、地域等からの健康相談も少なかったが、令和4年度以降は増加している。健康づくり及び健康増進に直結する食生活の市民の関心は強く、食生活相談窓口や事業の幅広い周知によって相談者が多くあった。

事業シート(事業番号)

項目	33	出産に関わる講座や相談の実施										目標達成のための取組	フレッシュ！パパママ教室、離乳食講習会の実施、周知、利用促進。	担当課
内容	妊娠・出産に関する講座等を実施し、健康支援を行う。										健康づくり課			
事業	44	妊産婦や乳幼児を持つ親を対象とした講座の開催												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	②	年度単位評価												
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)		
指標		フレッシュパパママ教室参加率	離乳食講習会参加人数	フレッシュパパママ教室参加率	離乳食講習会参加人数	フレッシュパパママ教室参加率	離乳食講習会参加人数	フレッシュパパママ教室参加率	離乳食講習会参加人数	フレッシュパパママ教室参加率	離乳食講習会参加人数			
計画(年度ごとの目標等)		40	240	40	240	40	240	40	240	40	240			
実績(値)	フレッシュパパママ教室参加率(妊婦) 39.9%	50.7	250	39.5	158	24	202	27.4	254	30.7	260	フレッシュパパママ教室参加率 40% 離乳食講習会参加者数 240人		
達成率	離乳食講習会参加人数 240人	126.8	104.2	98.8	65.8	60.0	84.2	68.5	105.8	76.8	108.3			
評価		A	A	A	B+	B+	A	B+	A	B+	A			
		115.5	A	82.3	A	72.1	B+	87.2	A	92.5	A			
											5か年の総合評価 ※評価の平均	89.9	A	
5か年の総合評価に対する総括														
フレッシュパパママ教室については、コロナ禍もあり参加定員を通常より少なくして開催した。令和5年度からは、定員は増やさず開催回数を増やし対応した。参加率は、目標達成に至らなかったが、参加者の89%が夫婦で参加しており内容についても高評価であった。離乳食講習会は夫婦での参加も多くなった。個々の離乳食に関する知識や調理技術の差の開きの大きさが感じられる。今後の継続の必要性を感じる。														

事業シート(事業番号)

項目	33	出産に関わる講座や相談の実施										目標達成のための取組	子育て世代包括センター、乳幼児相談事業等、相談窓口の周知、利用促進	担当課
内容	妊娠・出産に関する講座等を実施し、健康支援を行う。										健康づくり課			
事業	45	妊産婦や乳幼児を持つ親を対象とした相談の実施												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	①	積み上げ評価												
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)		
指標		子育て世代包括支援センターの相談件数	予約制乳幼児相談・運動発達相談件数	子育て世代包括支援センターの相談件数	予約制乳幼児相談・運動発達相談件数	子育て世代包括支援センターの相談件数	予約制乳幼児相談・運動発達相談件数	子育て世代包括支援センターの相談件数	予約制乳幼児相談・運動発達相談件数	子育て世代包括支援センターの相談件数	予約制乳幼児相談・運動発達相談件数			
計画(年度ごとの目標等)		500	480	950	480	1000	360	1050	360	1050	360			
実績(値)	乳幼児相談件数 473件	905	312	1554	237	939	242	1041	340	1199	294	乳幼児相談件数 480件 子育て世代包括支援センターの相談件数 1050件		
達成率	子育て世代包括支援センターの相談件数 360件	181.0	65.0	163.6	49.4	93.9	67.2	99.1	94.4	114.2	81.7			
評価		A	B+	A	B	A	B+	A	A	A	A			
		123.0	A	106.5	A	80.6	A	96.8	A	97.9	A			
											5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率	114.2	A	
5か年の総合評価に対する総括														
令和元年度より鳥田市ネウボラを開始し、担当保健師という相談窓口を広く周知してきた。また、しまいく+でのオンライン相談も令和3年3月から開始し、相談しやすい環境が整えられ、目標が達成された。乳幼児相談・運動発達相談は、必要な方には周知し参加につなげることができた。														

事業シート(事業番号)

項目	34	不妊治療に関する支援									目標達成のための取組	広報やホームページにより周知する。						担当課
内容	不妊治療の相談、助成事業を実施する。									健康づくり課								
事業	46	不妊治療相談事業 特定不妊治療費助成事業																
■実績(値)・年度ごとの評価																		
評価モデル	②	年度単位評価																
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		不妊治療相談数(件)	一般不妊治療費助成数(件)	特定不妊治療費助成数(件)	不妊治療相談数(件)	一般不妊治療費助成数(件)	特定不妊治療費助成数(件)	不妊治療相談数(件)	一般不妊治療費助成数(件)	特定不妊治療費助成数(件)	不妊治療相談数(件)	一般不妊治療費助成数(件)	特定不妊治療費助成数(件)	不妊治療相談数(件)	一般不妊治療費助成数(件)	特定不妊治療費助成数(件)		
計画(年度ごとの目標等)		50	25	130	50	25	130	50	25	130	50	25	130	50	25	130		
実績(値)	不妊治療相談数 58件 一般不妊治療費助成数 40件 特定不妊治療費助成数 135件	38	35	113	21	24	138	18	25	170	0	4	121	0	0	3	不妊治療相談数 50件 一般不妊治療費助成数 25件 特定不妊治療費助成数 130件	
達成率		76.0	140.0	86.9	42.0	96.0	106.2	36.0	100.0	130.8	0.0	16.0	93.1	0.0	0.0	2.3		
評価		B+	A	A	B	A	A	B-	A	A	C	C	A	C	C	C		
		101.0	A		81.4	A		88.9	A		36.4	B-		0.8	C			
															5か年の総合評価 ※評価の平均	61.7	B+	
5か年の総合評価に対する総括																		
不妊治療を受ける夫婦の、経済的負担の軽減を図ることができた。特定不妊治療(体外受精及び顕微授精等)及び一般不妊治療(人工授精)は、令和4年4月1日から保険適用となったため、当助成事業は廃止された。																		

事業シート(事業番号)

項目	35	男女の心の健康支援									目標達成のための取組	市民に対し、ゲートキーパーの役割を普及するとともに、相談窓口一覧のリーフレットを作成し、周知を図る。						担当課
内容	心の健康問題に対する理解を深めるため啓発活動を行うとともに、4男性・女性それぞれの相談・支援体制の充実に努める。									健康づくり課								
事業	47	地域自殺対策緊急強化事業																
■実績(値)・年度ごとの評価																		
評価モデル	①	積み上げ評価																
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		養成者数			養成者数			養成者数			養成者数			養成者数				
計画(年度ごとの目標等)		885			913			942			971			1000				
実績(値)	ゲートキーパー養成者数(人) ※平成23年度からの累計	877			916			1120			1251			1396			ゲートキーパー養成者数(人) ※平成23年度からの累計	
達成率		99.1			100.3			118.9			128.8			139.6				
評価		A			A			A			A			A			1000	
		99.1	A		100.3	A		118.9	A		128.8	A		139.6	A			
															5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率	139.6	A	
5か年の総合評価に対する総括																		
目標以上のゲートキーパーを養成できているが、自殺者数は依然減っていないため、今後も自殺対策の有力手段であるゲートキーパー養成は継続して行っていく。																		

事業シート(事業番号)

項目	36	スポーツ活動の促進	目標達成のための取組	誰もが取り組みやすいニュースポーツ教室を開催する。 また、子育て中のお母さんも参加できるように、託児付の「ママさん教室」を開催する。	担当課 スポーツ振興課
内容	誰でも参加しやすいスポーツ講座などを開催し、スポーツに親しむことが出来る環境づくりを推進する。				
事業	48	スポーツ教室			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		スポーツ教室開催回数(回)	スポーツ教室参加者数(人)	ママさん教室開催回数(回)	スポーツ教室開催回数(回)	スポーツ教室参加者数(人)	ママさん教室開催回数(回)										
計画(年度ごとの目標等)	スポーツ教室(ママさん教室含む)開催数 70回	70	1350	10	70	1350	10	70	1350	10	70	1350	10	70	1350	10	スポーツ教室(ママさん教室含む)開催数 70回
実績(値)	スポーツ教室(ママさん教室含む)参加者数 1,178人	70	1034	10	35	368	0	42	481	8	68	890	10	61	870	10	スポーツ教室(ママさん教室含む)参加者数 1,350人
達成率		100.0	76.6	100.0	50.0	27.3	0.0	60.0	35.6	80.0	97.1	65.9	100.0	87.1	64.4	100.0	
評価	ママさん教室開催数 8回	A	B+	A	B	B-	C	B+	B-	A	A	B+	A	A	B+	A	ママさん教室開催数 10回
		92.2	A		25.8	B-		58.5	B		87.7	A		83.9	A		
															5か年の総合評価 ※評価の平均	69.6	B+

5か年の総合評価に対する総括

ママさん教室については、夜間の教室に加え、午前中開催の無料体験会を実施した。
ママさん教室の回数としては目標値を達成しているが、各回の託児申込人数が多く、現状の託児員数ではママさんのスポーツ教室への参加者数を増やすことが困難であり課題である。

事業シート(事業番号)

項目	37	教育現場における性に関する教育・学習機会の充実	目標達成のための取組	子どもの実態に合った年間指導計画を作成し、青少年を取り巻く社会の情勢や話題を積極的に取り入れた授業を行う。	担当課 学校教育課
内容	「自他の尊重を基本とした性教育」を各学年において実施する。				
事業	49	性に関する授業の実施			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		実施率			実施率			実施率			実施率			実施率			
計画(年度ごとの目標等)		100%			100%			100%			100%			100%			
実績(値)		100%			100%			100%			100%			100%			
達成率	市内中学校で実施率100%	100.0			100.0			100.0			100.0			100.0			市内中学校で実施率100%
評価		A			A			A			A			A			
		100.0	A		100.0	A		100.0	A		100.0	A		100.0	A		
															5か年の総合評価 ※評価の平均	100.0	A

5か年の総合評価に対する総括

目標は達成できた。引き続き、発達段階に応じた性に関する指導を実施していく。

第3次島田市男女共同参画行動計画(令和元～5年度)実施計画書

基本情報(計画での位置づけ)

区分	Ⅱ	安全・安心な暮らしの実現
基本的施策	6	女性に対する暴力の根絶(島田市DV防止対策基本計画)

事業シート(事業番号)

項目	38	女性に対する暴力根絶へ向けた啓発の推進		目標達成のための取組	11月の運動期間に合わせて、広報紙やホームページに記事を掲載する。	担当課							
内容	男女共同参画週間や女性に対する暴力をなくす運動に合わせて、啓発を行う。		市民協働課										
事業	50	男女共同参画週間や女性に対する暴力をなくす運動期間に合わせて、啓発を行う。											
■実績(値)・年度ごとの評価													
評価モデル	②	年度単位評価											
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		広報媒体への掲載	ポスターの掲示	広報媒体への掲載	ポスターの掲示	広報媒体への掲載	ポスターの掲示	広報媒体への掲載	ポスターの掲示	広報媒体への掲載	ポスターの掲示		
計画(年度ごとの目標等)		2	1	2	1	2	1	2	1	2	1		
実績(値)	広報はまだやホームページでの啓発1回	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	広報はまだやホームページでの啓発年2回	
達成率	ポスターの掲示1回	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0	100.0	50.0	100.0	50.0	100.0	ポスターの掲示年1回	
評価		A	A	B	A	B	A	B	A	B	A		
		100.0	A	75.0	B+	75.0	B+	75.0	B+	75.0	B+		
											5か年の総合評価 ※評価の平均	80.0	A
5か年の総合評価に対する総括													
毎年ホームページとポスターによる啓発・周知は行った。今後はWEB版ぱれっとを活用した啓発・周知も行っていく。													

事業シート(事業番号)

項目	38	女性に対する暴力根絶へ向けた啓発の推進		目標達成のための取組	国・県で行う啓発事業と連携し、各施設へのリーフレット配布やより効果的な啓発を行っていく。	担当課							
内容	女性に対する暴力をなくす運動や児童虐待防止推進月間に合わせて、暴力根絶の啓発事業を実施する。		子育て応援課										
事業	51	女性に対する暴力をなくす運動や児童虐待防止推進月間に合わせた暴力根絶の啓発事業											
■実績(値)・年度ごとの評価													
評価モデル	②	年度単位評価											
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		リーフレット配布枚数	啓発事業参加人数	リーフレット配布枚数	啓発事業参加人数	リーフレット配布枚数	啓発事業参加人数	リーフレット配布枚数	啓発事業参加人数	リーフレット配布枚数	啓発事業参加人数		
計画(年度ごとの目標等)		500	7	500	15	300	15	500	15	500	15		
実績(値)	リーフレット配布枚数500枚	450	7	159	12	300	12	350	16	425	15	リーフレット配布枚数300枚	
達成率	啓発事業参加人数7人	90.0	100.0	31.8	80.0	100.0	80.0	70.0	106.7	85.0	100.0	啓発事業参加人数15人	
評価		A	A	B-	A	A	A	B+	A	A	A		
		95.0	A	55.9	B	90.0	A	88.3	A	92.5	A		
											5か年の総合評価 ※評価の平均	84.3	A
5か年の総合評価に対する総括													
毎年、11月の児童虐待防止推進月間とDV防止推進月間に合わせ、島田駅で街頭広報を行い、市民の方に周知と啓発を行った。また、関係機関(学校・病院・保育園幼稚園等々)にポスターを配布し周知を図った。													

事業シート(事業番号)

項目	39	人権教育の推進と 若年層へのDV防止啓発										目標達成のための 取組	事業が円滑に実施されるよう、市教委、学校 への情報提供を密にしてい。く。	担当課		
内容	小中高生の人権啓発ポスター展や「種をまこう」を活用した読み聞かせなどの啓発を行う。										生活安心課					
事業	52	人権啓発ポスター展 人権副読本読み聞かせ事業														
■実績(値)・年度ごとの評価																
評価モデル	②	年度単位評価														
	平成30年度 (2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)		令和5年度 (2023) ※目標(値)
指標		ポスター展 開催回数 (回)	ポスター展 応募作品数 (点)		ポスター展 開催回数 (回)	ポスター展 応募作品数 (点)		ポスター展 開催回数 (回)	ポスター展 応募作品数 (点)		ポスター展 開催回数 (回)	ポスター展 応募作品数 (点)		ポスター展 開催回数 (回)	ポスター展 応募作品数 (点)	
計画 (年度ごとの目標 等)		2	460		2	460		2	460		2	460		2	460	
実績(値)		2	567		1	486		1	578		1	386		1	384	
達成率	ポスター展開 催回数 2回 応募作品数 460点	100.0	123.3		50.0	105.7		50.0	125.7		50.0	83.9		50.0	83.5	
評価		A	A		B	A		B	A		B	A		B	A	
		111.6	A		77.8	B+		87.8	A		67.0	B+		66.7	B+	
														5か年の総合評価 ※評価の平均	82.2	A
5か年の総合評価に対する総括																
R5目標:ポスター展開催回数2回、実績:1回、達成率50.0% ポスター展応募作品数460点、実績:384点、達成率83.5% コロナ禍以後もポスター展の開催が1回となってしまったが、応募作品数はおおむね目標数を達成することができた。																

事業シート(事業番号)

項目	39	人権教育の推進と 若年層へのDV防止啓発										目標達成のための 取組	市内高校へデートDV防止に関する講座等を 情報提供する。 市内中学校や看護専門学校を対象にデート DV防止出前講座を実施する。	担当課		
内容	高校生、教職員等を対象に「デートDV」防止に関する情報提供や啓発を行う。										市民協働課					
事業	53	若年層へのデートDV防止の啓発														
■実績(値)・年度ごとの評価																
評価モデル	②	年度単位評価														
	平成30年度 (2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)		令和5年度 (2023) ※目標(値)
指標		情報提供校 数	講座開催回 数(高校等・ 中学校)		情報提供校 数	講座開催回 数(高校等・ 中学校)		情報提供校 数	講座開催回 数(高校等・ 中学校)		情報提供校 数	講座開催回 数(高校等・ 中学校)		情報提供校 数	講座開催回 数(高校等・ 中学校)	
計画 (年度ごとの目標 等)		5	1		5	3		5	3		5	3		5	3	
実績(値)		5	2		0	2		0	1		0	1		0	1	
達成率	県主催のデー トDV防止出前 セミナーの実施 実施高校1校	100.0	200.0		0.0	66.7		0.0	33.3		0.0	33.3		0.0	33.3	
評価		A	A		C	B+		C	B-		C	B-		C	B-	
		150.0	A		33.3	B-		16.7	C		16.7	C		16.7	C	
														5か年の総合評価 ※評価の平均	46.7	B
5か年の総合評価に対する総括																
県主催のデートDV防止出前セミナーについては、県から各高校へ情報提供がされるため、市からの情報提供は実施しなかった。令和2年度からは、市独自の事業として、中学校でのデートDV防止出前講座の情報提供及び希望校に対して講座を開催している。																

事業シート(事業番号)

項目	40	相談体制の充実										目標達成のための取組	女性相談の実施について、関係機関へのチラシの配布、ホームページ等での周知を行う。また庁内関係部署との連携を図る。	担当課
内容	DV等に関する相談窓口や支援情報の周知を図るとともに、相談担当者及び関係職員の資質の向上に努め、体制の充実を図る。										市民協働課			
事業	54	女性相談事業												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	②	年度単位評価										女性相談の実施 年24回 相談件数 年40件		
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		相談実施回数	相談件数	相談実施回数	相談件数	相談実施回数	相談件数	相談実施回数	相談件数	相談実施回数	相談件数			
計画(年度ごとの目標等)		24	40	24	40	24	40	24	40	24	40			
実績(値)	関係課との打ち合わせは実施しなかったが、女性相談の相談内容によっては連携して対応した。	24	38	22	40	24	38	24	44	24	51			
達成率		100.0	95.0	91.7	100.0	100.0	95.0	100.0	110.0	100.0	127.5			
評価		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A			
		97.5	A	95.8	A	97.5	A	105.0	A	113.8	A			
5か年の総合評価 ※評価の平均											101.9	A		
5か年の総合評価に対する総括														
女性相談は、計画どおりの相談回数を実施した。相談件数は増加傾向にある。令和5年度は、DV等の相談案件において適切な対応がとれるよう子育て応援課と打ち合わせを実施し、連携体制の確認を行った。														

事業シート(事業番号)

項目	40	相談体制の充実										目標達成のための取組	国・県主催の研修会への積極的な参加と先進市への視察を行い、市の体制の見直しを図る。	担当課
内容	DV等に関する相談窓口や支援情報の周知を図るとともに、相談担当者及び関係職員の資質の向上に努め、体制の充実を図る。										子育て応援課			
事業	55	家庭児童相談室体制の強化												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	②	年度単位評価										研修参加回数30回 研修参加人数60人		
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		研修参加回数	研修参加人数	研修参加回数	研修参加人数	研修参加回数	研修参加人数	研修参加回数	研修参加人数	研修参加回数	研修参加人数			
計画(年度ごとの目標等)		30	60	30	60	30	60	30	60	30	60			
実績(値)	研修参加回数32回 研修参加人数57人	19	42	13	15	18	39	29	42	32	54			
達成率		63.3	70.0	43.3	25.0	60.0	65.0	96.7	70.0	106.7	90.0			
評価		B+	B+	B	B-	B+	B+	A	B+	A	A			
		66.7	B+	34.2	B-	62.5	B+	83.3	A	98.3	A			
5か年の総合評価 ※評価の平均											69.0	B+		
5か年の総合評価に対する総括														
新型コロナウイルスにより研修会等の開催が減ったため目標の達成ができなかったが、開催された研修会等へは積極的に多くの職員が参加し相談体制の充実を図ることができた。														

事業シート(事業番号)

項目	40	相談体制の充実						目標達成のための取組	常設一般相談及び定例人権相談を月3回必ず開設し、市民が相談できる機会を創出する。	担当課									
内容	DV等に関する相談窓口や支援情報の周知を図るとともに、相談担当者及び関係職員の資質の向上に努め、体制の充実を図る。						生活安心課												
事業	56	常設・定例(人権)市民相談																	
■実績(値)・年度ごとの評価																			
評価モデル	②	年度単位評価																	
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023) ※目標(値)					
指標		開催日数(日)	相談件数(件)		開催日数(日)	相談件数(件)		開催日数(日)	相談件数(件)		開催日数(日)	相談件数(件)		開催日数(日)	相談件数(件)				
計画(年度ごとの目標等)		38	3		38	3		38	3		38	3		38	3				
実績(値)		38	4		0	0		25	1		28	3		36	6				
達成率	開催日数 39日 相談件数 3回	100.0	133.3		0.0	0.0		65.8	33.3		73.7	100.0		94.7	200.0				
評価		A	A		C	C		B+	B-		B+	A		A	A				
		116.7	A		0.0	C		49.6	B		86.8	A		147.4	A				
														5か年の総合評価 ※評価の平均		80.1	A		
5か年の総合評価に対する総括																			
R5目標:開催日数38回、実績:36回、達成率94.7% 相談件数3件、実績:6件、達成率200% 特別相談日を設定しなかったため、開催日数は目標を達成することができなかったが、月3回開催、相談件数の目標は達成できた。																			

事業シート(事業番号)

項目	40	相談体制の充実						目標達成のための取組	事業所向けに高齢者虐待対応研修を実施する。 地域包括支援センターとの連携を図る。	担当課									
内容	DV等に関する相談窓口や支援情報の周知を図るとともに、相談担当者及び関係職員の資質の向上に努め、体制の充実を図る。						包括ケア推進課												
事業	57	高齢者相談・支援																	
■実績(値)・年度ごとの評価																			
評価モデル	②	年度単位評価																	
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023) ※目標(値)					
指標		地域包括支援センター設置数			地域包括支援センター設置数			地域包括支援センター設置数			地域包括支援センター設置数			地域包括支援センター設置数					
計画(年度ごとの目標等)		6			6			6			6			6					
実績(値)		6			6			6			6			6					
達成率	高齢者虐待相談支援の実施。 高齢者虐待コア会議実人員27件*うち女性への虐待21件(実人数)	100.0			100.0			100.0			100.0			100.0					
評価		A			A			A			A			A					
		100.0	A		100.0	A		100.0	A		100.0	A		100.0	A				
														5か年の総合評価 ※評価の平均		100.0	A		
5か年の総合評価に対する総括																			
5か年を通して目標値を達成している。 地域包括支援センターと連携しながら虐待終結に向けて対応することができている。 ただし、地域包括支援センターによって、事実確認方法などの虐待対応に差があることが発生しているため、全体的な能力の向上に努め、どの地区でも同じレベルで対応できるようにしていく必要がある。																			

事業シート(事業番号)

項目	40	相談体制の充実						目標達成のための取組	高齢者の総合相談窓口として地域包括支援センターが設置されていることを、ホームページ、FM島田、広報、民生委員、町内会、老人クラブ等に周知していく。	担当課			
内容	DV等に関する相談窓口や支援情報の周知を図るとともに、相談担当者及び関係職員の資質の向上に努め、体制の充実を図る。						包括ケア推進課						
事業	58	高齢者相談・支援											
■実績(値)・年度ごとの評価													
評価モデル	②	年度単位評価											
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		地域包括支援センター設置数		地域包括支援センター設置数		地域包括支援センター設置数		地域包括支援センター設置数		地域包括支援センター設置数			
計画(年度ごとの目標等)	地域包括支援センター設置数6箇所 相談延べ件数6,405件	6		6		6		6		6		地域包括支援センター設置数6箇所	
実績(値)		6		6		6		6		6			
達成率	(H31年3月末) *うち高齢女性への身体的虐待相談10件(実人数)	100.0		100.0		100.0		100.0		100.0			
評価		A		A		A		A		A			
		100.0	A	100.0	A	100.0	A	100.0	A	100.0	A		
										5か年の総合評価 ※評価の平均		100.0	A
5か年の総合評価に対する総括													
5か年を通して、目標値は達成している。 地域包括支援センターの設置・役割について、ホームページや地域に向いた際に周知していること、また、相談件数が年々増加(R5年度 延べ8996件)していることから、相談窓口や支援情報の周知は計画どおり出来ていると考える。しかし、人材の確保困難や重層的な相談の増加により、地域包括支援センター職員の負担が大きくなっていることから、設置継続のために今後も法人・包括ヒアリングを実施し、現場の状況を把握することで機能強化・必要な助言指導に努めていく必要がある。													

事業シート(事業番号)

項目	40	相談体制の充実						目標達成のための取組	FMでの広報、民生委員等への周知、事業所への研修会等を通して広報していく。	担当課			
内容	DV等に関する相談窓口や支援情報の周知を図るとともに、相談担当者及び関係職員の資質の向上に努め、体制の充実を図る。						福祉課						
事業	59	障害者相談支援事業											
■実績(値)・年度ごとの評価													
評価モデル	②	年度単位評価											
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		相談件数		相談件数		相談件数		相談件数		相談件数			
計画(年度ごとの目標等)		9,450		9,450		9,450		9,450		9,450		相談件数 9,450件	
実績(値)		9,128		10,277		11,791		10,988		11,917			
達成率	相談件数 9,085件	96.6		108.8		124.8		116.3		126.1			
評価		A		A		A		A		A			
		96.6	A	108.8	A	124.8	A	116.3	A	126.1	A		
										5か年の総合評価 ※評価の平均		114.5	A
5か年の総合評価に対する総括													
相談件数については目標値を上回るなど、制度やサービス利用につなげていくための相談支援としての効果はあった。相談内容については、年々複雑化・複合化してきており、相談支援体制の強化が求められたため、令和3年度から相談支援体制の強化を目的として近隣二市二町(島田市、牧之原市、吉田町、川根本町)で基幹相談支援センターを設置し、困難事例等に対する総合的・専門的な相談支援を実施している。													

事業シート(事業番号)

項目	40	相談体制の充実									目標達成のための取組	支援に関する最新情報の把握と提供。プライバシーを保護するような相談環境の整備。院内マニュアルの見直しと周知。研修等による対応職員の資質向上。					担当課
内容	DV等に関する相談窓口や支援情報の周知を図るとともに、相談担当者及び関係職員の資質の向上に努め、体制の充実を図る。											総合医療センター 医療連携室					
事業	60	医療社会相談事業															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		相談件数	研修実施数	マニュアル見直し(打ち合わせ等)回数	相談件数	研修実施数	マニュアル見直し(打ち合わせ等)回数	相談件数	研修実施数	マニュアル見直し(打ち合わせ等)回数	相談件数	研修実施数	マニュアル見直し(打ち合わせ等)回数	相談件数	研修実施数	マニュアル見直し(打ち合わせ等)回数	
計画(年度ごとの目標等)		2	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	
実績(値)	相談者に対し、必要に応じて関係機関との連携や紹介により適切に対応する体制はとっているが相談数は0件だった。	0	1	0	0	1	1	7	1	1	5	0	1	3	1	1	支援に関する最新情報の把握と提供。プライバシーを保護するような相談環境の整備。院内マニュアルの見直しと周知。研修等による対応職員の資質向上。
達成率		0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	350.0	100.0	100.0	250.0	0.0	100.0	150.0	100.0	100.0	
評価		C	A	C	C	A	A	A	A	A	A	C	A	A	A	A	
		33.3	B-		66.7	B+		183.3	A		116.7	A		116.7	A		
															5か年の総合評価 ※評価の平均	103.3	A
5か年の総合評価に対する総括																	
DV被害を訴える相談を受けた際に患者の気持ちに添えるよう、研修により相談員の資質の向上を図った。また、適切な相談窓口を情報提供できるよう、資料の準備を行った。また、被害を訴えるまたは疑われる患者が受診した際に対応に困らないよう、マニュアルを作成し、院内に周知した。																	

事業シート(事業番号)

項目	41	DV防止法制度や支援制度の啓発の推進									目標達成のための取組	DV防止推進月間等に合わせ、女性に対する暴力根絶及びDV防止法制度や支援制度の啓発を行う。					担当課
内容	DV防止法に基づく通報についての理解の浸透を図るとともに支援制度について情報提供や啓発を行う。											子育て応援課					
事業	61	DV防止法制度や支援制度の啓発の推進															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		啓発リーフレット配布枚数	啓発事業参加人数	啓発リーフレット配布枚数	啓発事業参加人数	啓発リーフレット配布枚数	啓発事業参加人数	啓発リーフレット配布枚数	啓発事業参加人数	啓発リーフレット配布枚数	啓発事業参加人数	啓発リーフレット配布枚数	啓発事業参加人数	啓発リーフレット配布枚数	啓発事業参加人数		
計画(年度ごとの目標等)		500	7	500	15	300	15	500	15	500	15	500	15	500	15		
実績(値)	啓発リーフレット配布枚数 500枚 啓発事業参加人数 7人	450	7	159	12	300	12	350	16	425	15					啓発リーフレット配布枚数 300枚 啓発事業参加人数 15人	
達成率		90.0	100.0	31.8	80.0	100.0	80.0	70.0	106.7	85.0	100.0						
評価		A	A	B-	A	A	A	B+	A	A	A						
		95.0	A		55.9	B		90.0	A		88.3	A		92.5	A		
															5か年の総合評価 ※評価の平均	84.3	A
5か年の総合評価に対する総括																	
毎年、11月の児童虐待防止推進月間に合わせて、DV防止に向けた推進・啓発活動として、DVのリーフレットや相談窓口案内を街頭広報で行った。																	

事業シート(事業番号)

項目	42	被害者の安全確保						目標達成のための取組	警察、県女性相談センター等の関係機関との連携により被害者の安全を確保する。	担当課 子育て応援課		
内容	関係機関等と連携し、DV等被害者の保護体制の強化・充実を図る。											
事業	62	被害者の安全確保										
■実績(値)・年度ごとの評価												
評価モデル	②	年度単位評価										
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		安全確保件数		安全確保件数		安全確保件数		安全確保件数		安全確保件数		
計画(年度ごとの目標等)		1		1		1		1		1		保護による安全確保件数 1件
実績(値)	保護による安全確保件数 3件	1		2		2		3		4		
達成率		100.0		200.0		200.0		300.0		400.0		
評価		A		A		A		A		A		
		100.0	A	200.0	A	200.0	A	300.0	A	400.0	A	
										5か年の総合評価 ※評価の平均	240.0	A
5か年の総合評価に対する総括												
危険性、緊急性の高いDV等被害者の安全を確保するために、警察や関係部署との連携をはかり、緊急一時保護を行い、その後の自立に向けた支援を行った。												

事業シート(事業番号)

項目	43	被害者の自立支援						目標達成のための取組	県女性相談センターや福祉事務所等の関係機関と連携をとり、被害者の自立に向けた支援を行う。	担当課 子育て応援課		
内容	関係機関等と連携し、DV等被害者の自立支援体制の強化・充実を図る。											
事業	63	被害者の自立支援										
■実績(値)・年度ごとの評価												
評価モデル	②	年度単位評価										
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		自立支援件数		自立支援件数		自立支援件数		自立支援件数		自立支援件数		
計画(年度ごとの目標等)		12		12		12		12		12		被害者の自立支援件数 12件
実績(値)	被害者の自立支援件数 12件	16		18		19		11		21		
達成率		133.3		150.0		158.3		91.7		175.0		
評価		A		A		A		A		A		
		133.3	A	150.0	A	158.3	A	91.7	A	175.0	A	
										5か年の総合評価 ※評価の平均	141.7	A
5か年の総合評価に対する総括												
一時保護には至らないDV等被害者の相談援助を重ね、警察や関係部署との連携をはかり、被害者の自立に向けた支援を行った。												

第3次島田市男女共同参画行動計画(令和元～5年度)実施計画書

基本情報(計画での位置づけ)

区分	Ⅱ	安全・安心な暮らしの実現
基本的施策	7	生活に困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備

事業シート(事業番号)

項目	44	ひとり親家庭支援事業の充実	目標達成のための取組	窓口での相談業務のほか、島田市子育て応援サイト等で情報を発信していく。	担当課
内容	ひとり親家庭に対し、医療費助成・児童扶養手当等の援助を行うほか、支援員による相談・情報提供を行う。				
事業	64	医療費助成、児童扶養手当、自立支援給付金、相談業務の実施			子育て応援課

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価												令和5年度(2023)※目標(値)
		令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)				
指標		自立支援教育訓練	高等職業訓練	自立支援教育訓練	高等職業訓練									
計画(年度ごとの目標等)	平成30年度(2018)※現状(値)	2	3	2	2	2	2	3	2	3	2			
実績(値)	自立支援教育訓練資格取得1人	1	1	1	0	4	3	2	4	0	3			自立支援教育訓練資格取得3人 高等職業訓練促進給付申請2人
達成率	高等職業訓練促進給付申請2人	50.0	33.3	50.0	0.0	200.0	150.0	66.7	200.0	0.0	150.0			
評価		B	B-	B	C	A	A	B+	A	C	A			
		41.7	B	25.0	B-	175.0	A	133.3	A	75.0	B+			
												5か年の総合評価 ※評価の平均	90.0	A

5か年の総合評価に対する総括

それぞれの事業について、目標の件数をおおむね達成することができた。

事業シート(事業番号)

項目	45	児童生徒への就学援助	目標達成のための取組	学校と連携し、保護者への制度の周知に努める。	担当課
内容	経済的理由により就学困難な家庭に対し、小中学生の就学に必要な経費を援助する。				
事業	65	要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金			教育総務課

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価												令和5年度(2023)※目標(値)
		令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)				
指標		周知回数		周知回数		周知回数		周知回数		周知回数		周知回数		
計画(年度ごとの目標等)	年間周知回数8回	8		8		8		8		8		8		
実績(値)	①ホームページ ②広報しまだ ③在校生全員(12月)	8		8		8		8		8		8		年間周知回数8回を実施する。
達成率	④新小1生へ就学時健診案内と送付 ⑤新中1生へ全員配布	100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		
評価	⑥学校説明会 ⑦保育支援課等来庁者への案内 ⑧転入者に学校事務室にて案内	A		A		A		A		A		A		
		100.0	A											
												5か年の総合評価 ※評価の平均	100.0	A

5か年の総合評価に対する総括

就学援助制度の情報が必要な方に届くよう、様々な場面や広報媒体を使って周知を図った。学校を通じてお知らせを送付することが多いため、今後も学校と連携し、年間を通して保護者への制度の周知に努めていく。

事業シート(事業番号)

項目	46	介護相談員派遣事業の充実										目標達成のための取組	広く多様な相談員を確保するため、広報しまだにおいて募集をする。	担当課			
内容	介護相談員を介護保険施設等へ派遣し、介護サービスの質の向上を図る。										長寿介護課						
事業	66	介護相談員派遣事業における相談員の配置															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		男性の相談員数			男性の相談員数			男性の相談員数			男性の相談員数			男性の相談員数			
計画(年度ごとの目標等)	男性の介護相談員数	2			2			2			2			2			男性の介護相談員数
実績(値)		1			1			1			1			1			
達成率		50.0			50.0			50.0			50.0			50.0			
評価	2	B			B			B			B			B			2
		50.0		B	50.0		B	50.0		B	50.0		B	50.0		B	
													5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率		50.0	B	
5か年の総合評価に対する総括																	
男性の介護相談員は、1名(R1~R3年度、更新してR4~R6年度)に留まっている。R7年度任用(R6年度に面接)では、男性の方も応募しており、面接後適正であれば採用するなど、目標の2名になるように努めたい。																	

事業シート(事業番号)

項目	47	地域における高齢者の居場所づくりの推進										目標達成のための取組	地域支援事業として実施し、居場所の開設、整備をしようとする団体に対し、物品購入等の補助を行うことで、居場所の設置の促進を行う。島田市社会福祉協議会と連携し、効率的かつ効果的に実施していく。	担当課			
内容	高齢者に公会堂等を開放し、地域における居場所づくりを推進する。										包括ケア推進課						
事業	67	居場所づくり事業															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	①	積み上げ評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		達成率			達成率			達成率			達成率			達成率			
計画(年度ごとの目標等)	居場所実施箇所数(箇所)	55			70			80			90			95			居場所実施箇所数(箇所)
実績(値)		61			68			73			73			70			
達成率		110.9			97.1			91.3			81.1			73.7			
評価	59	A			A			A			A			B+			95
		110.9		A	97.1		A	91.3		A	81.1		A	73.7		B+	
													5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率		73.7	B+	
5か年の総合評価に対する総括																	
居場所関係者の高齢化やコロナウィルスの影響等で団体消滅が続く、思うように団体数が増えていかなかった。今後は維持・存続にも注力していき、居場所の充実を図りたい。																	

事業シート(事業番号)

項目	48	障害のある人の多様な社会参加の推進										目標達成のための取組	就労に係る福祉サービスを充実させることで、障害のある方の就労を支援する。	担当課
内容	障害のある人の自立や多様な社会参加の促進を図れるよう支援を行う。													福祉課
事業	68	障害者の就労支援												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	②	年度単位評価											令和5年度(2023) ※目標(値)	
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		福祉施設利用から一般就労への移行者数 10人		
指標		一般就労移行者数(人)		一般就労移行者数(人)		一般就労移行者数(人)		一般就労移行者数(人)		一般就労移行者数(人)				
計画(年度ごとの目標等)		10		10		10		10		10				
実績(値)	福祉施設利用から一般就労への移行者数 11人	8		5		7		5		7				
達成率		80.0		50.0		70.0		50.0		70.0				
評価		A		B		B+		B		B+				
		80.0	A	50.0	B	70.0	B+	50.0	B	70.0	B+			
											5か年の総合評価 ※評価の平均	64.0	B+	
5か年の総合評価に対する総括														
自立支援協議会における「しごと部会」を通じて、公共職業安定所のほか福祉、教育、労働の各分野の関係機関と連携し、就労支援に関する取組を進めてきたが、福祉施設利用から一般就労への移行者数については目標値を下回った。														

事業シート(事業番号)

項目	49	若者の自立支援										目標達成のための取組	ひきこもりに悩む当事者や保護者に対し相談窓口の開設、対応を学ぶ学習会の開催、支援機関の周知を行う。	担当課
内容	ひきこもり等社会参加が困難な状況にある若者に向けた支援を行う。													社会教育課
事業	69	ひきこもり、若年無業者等に対する支援												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	①	積み上げ評価											令和5年度(2023) ※目標(値)	
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		親学講座参加者数:120人(定員×4回)		
指標		親学講座参加者数(人)		親学講座参加者数(人)		親学講座参加者数(人)		親学講座参加者数(人)		親学講座参加者数(人)				
計画(年度ごとの目標等)		80		90		100		110		120				
実績(値)	親学講座参加者数35人	43		35		25		37		33				
達成率		53.8		38.9		25.0		33.6		27.5				
評価		B		B-		B-		B-		B-				
		53.8	B	38.9	B-	25.0	B-	33.6	B-	27.5	B-			
											5か年の総合評価 ※評価の平均	35.8	B-	
5か年の総合評価に対する総括														
過去5年間の間に、広報はまだ、市ホームページ、チラシの設置に加え、市LINEでの広報も取り入れた。しかし、参加者を増やすことはできなかった。ただし、多くの回で、初めての参加という方がおられることも事実であり、少しずつであるが、参加延べ数は増加している。今後も、より多くの方に情報を届けるための広報改善を継続し、重点として、参加された方に満足していただける企画内容にできるよう努めなければならないと考えている。														

事業シート(事業番号)

項目	50	生活困窮者の自立支援										目標達成のための取組	NPO団体と連携し、働きたくても働けない若者を対象に就職を目的としたセミナー等を開催する。	担当課
内容	ひきこもり等社会参加が困難な状況にある若者に向けた支援を行う。													商工課
事業	70	若者就労支援事業												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	②	年度単位評価												
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)		
指標		セミナー開催数(回)		セミナー開催数(回)		セミナー開催数(回)		セミナー開催数(回)		セミナー開催数(回)				
計画(年度ごとの目標等)		2		2		2		2		2		セミナー開催数 2回		
実績(値)		2		1		0		1		1				
達成率	セミナー開催数 2回	100.0		50.0		0.0		50.0		50.0				
評価		A		B		C		B		B				
		100.0	A	50.0	B	0.0	C	50.0	B	50.0	B			
											5か年の総合評価 ※評価の平均	50.0	B	
5か年の総合評価に対する総括														
コロナ過の影響により、開催することができない年があった。参加者へのアンケート結果から満足度が高い事業であると認識しているため、引き続き開催していく必要がある。1回の参加者が少数であることから、実施内容を精査する必要がある。														

事業シート(事業番号)

項目	50	生活困窮者の自立支援										目標達成のための取組	生活困窮者自立支援法に基づく事業や食糧支援等事業の充実をはかる。	担当課
内容	生活困窮者自立支援制度に基づく、自立相談支援事業や住居確保給付金などを行う。													福祉課
事業	71	生活困窮者の自立支援												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	①	積み上げ評価												
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)		
指標		達成率		達成率		達成率		達成率		達成率				
計画(年度ごとの目標等)	自立相談支援線事業における支援計画(プラン)作成(件)	63		64		65		66		67		自立相談支援線事業における支援計画(プラン)作成(件)		
実績(値)		56		63		62		71		85				
達成率		88.9		98.4		95.4		107.6		126.9				
評価	62	A		A		A		A		A			67	
		88.9	A	98.4	A	95.4	A	107.6	A	126.9	A			
											5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率	126.9	A	
5か年の総合評価に対する総括														
定期的な面談を行う中で本人が抱える課題を整理し、各種制度や事業に繋げるなど、多職種連携による支援を展開することができ、計画を上回る支援を行うことができた。引き続き、経済的な生活困窮状態にある相談者を事業に繋ぎ、深刻化する前に自立のための支援を提供していく。														

第3次島田市男女共同参画行動計画(令和元～5年度)実施計画書

基本情報(計画での位置づけ)

区分	Ⅲ	男女共同参画社会の実現に向けた環境の整備
基本的施策	8	男女共同参画社会の実現に向けた意識改革の推進

事業シート(事業番号)

項目	51	広報紙等による情報提供と啓発	目標達成のための取組	広報紙や市ホームページで情報提供や啓発を行う。	担当課
内容	広報紙・島田市ホームページ・FM島田などのメディアを使い、男女共同参画に関する情報を提供する。				市民協働課
事業	72	各種メディアを使った男女共同参画に関する情報の提供			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価												令和5年度(2023) ※目標(値)
		平成30年度(2018) ※現状(値)		令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		
指標		ページ訪問者数		ページ訪問者数		ページ訪問者数		ページ訪問者数		ページ訪問者数		ページ訪問者数		
計画(年度ごとの目標等)	ホームページの見直しや更新は毎月行うことはできなかったが、女性議会やセミナーなどの告知や開催報告を、広報しまだやFM島田、ホームページや新聞報道などを通じて行い、周知を図った。ページ訪問者数	4000		4000		4000		4000		4000		4000		市公式ホームページの関連ページ訪問者数 4,000件/年
実績(値)		3,187		3,142		3,946		2,886		2,352				
達成率		79.7		78.6		98.7		72.2		58.8				
評価	平成29年度 2390件 平成30年度 3714件 1324件の増	B+		B+		A		B+		B				
												5か年の総合評価 ※評価の平均	77.6	B+
5か年の総合評価に対する総括														
国、県からの情報などのホームページ掲載や、セミナー開催などの情報をLINEと連携し情報発信したが、ページ訪問数は減少した。														

事業シート(事業番号)

項目	51	広報紙等による情報提供と啓発	目標達成のための取組	啓発推進員により作成。年2回発行市内各戸配布、県の男女共同参画社会づくり宣言事業所等へ配布する。	担当課
内容	男女共同参画啓発情報紙「パレット」を発行し、情報提供及び意識啓発を行う。				市民協働課
事業	73	男女共同参画啓発情報紙「パレット」による情報提供			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価												令和5年度(2023) ※目標(値)
		平成30年度(2018) ※現状(値)		令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		
指標		パレット発行回数	編集会議回数	パレット発行回数	編集会議回数	パレット発行回数	編集会議回数	パレット発行回数	編集会議回数	パレット発行回数	編集会議回数	パレット発行回数	編集会議回数	
計画(年度ごとの目標等)		2	10	2	10	2	10	2	10	2	10	2	10	年2回(7月・1月)発行 編集会議開催 10回
実績(値)	情報紙パレット掲載記事	2	10	2	11	2	10	1	11	1	12			
達成率	・DVIについて、DVIに関する相談窓口の紹介 ・平成30年度島田市の男女共同参画に関する市民意識調査報告	100.0	100.0	100.0	110.0	100.0	100.0	50.0	110.0	50.0	120.0			
評価		A	A	A	A	A	A	B	A	B	A			
												5か年の総合評価 ※評価の平均	94.0	A
5か年の総合評価に対する総括														
情報紙パレットについては、令和3年度までは年2回ペーパーでの発行を行っていたが、DX化を進めるとともに若い世代に向けての情報発信を目指すため、令和4年度は1回の発行とし、WEBサイトを活用した情報発信の検討を開始した。令和5年度には、島田市男女共同参画情報サイト「しまだぱれっと」を作成した。														

事業シート(事業番号)

項目	52	男女共同参画及びジェンダー問題に関する情報の収集と提供										目標達成のための取組	図書館や公民館等市関係施設でパンフレット等を配布する。	担当課			
内容	男女共同参画に関する統計資料や図書等、情報を収集するとともに、市民に情報提供を行う。													市民協働課			
事業	74	国、県、他市、団体、研究教育機関等が発行する統計資料や図書等の収集と情報提供															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		内閣府広報紙の図書館への提供	あざれあからの広報物の提供		内閣府広報紙の図書館への提供	あざれあからの広報物の提供		内閣府広報紙の図書館への提供	あざれあからの広報物の提供		内閣府広報紙の図書館への提供	あざれあからの広報物の提供		内閣府広報紙の図書館への提供	あざれあからの広報物の提供		
計画(年度ごとの目標等)		12	3		12	3		12	3		12	3		12	3		
実績(値)		12	3		12	3		12	3		12	3		12	3		
達成率	計画どおり実施した。	100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0		
評価		A	A		A	A		A	A		A	A		A	A		
		100.0	A		100.0	A		100.0	A		100.0	A		100.0	A		
														5か年の総合評価 ※評価の平均		100.0	A
5か年の総合評価に対する総括																	
内閣府の広報誌「男女共同参画」を毎月図書館3館へ提供した。 県男女共同参画センターあざれあからの広報物を随時公共施設(公民館など)に配架依頼した。																	

事業シート(事業番号)

項目	52	男女共同参画及びジェンダー問題に関する情報の収集と提供										目標達成のための取組	男女共同参画に関する新刊資料を選書会議で選び受け入れていく。 男女共同参画週間等では、男女共同参画に関する本の特集コーナーを設置し、本の貸出し、男女共同参画に関するポスターの掲示、啓発パンフレット等を配布する。	担当課			
内容	図書館に男女共同参画に関する特集コーナーを設置し、情報提供を行う。													図書館課			
事業	75	男女共同参画に係るミニ特集コーナーの設置															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		新刊資料の受け入れ及び貸出し	特集コーナーの設置	ポスター等掲示	新刊資料の受け入れ及び貸出し	特集コーナーの設置	ポスター等掲示	新刊資料の受け入れ及び貸出し	特集コーナーの設置	ポスター等掲示	新刊資料の受け入れ及び貸出し	特集コーナーの設置	ポスター等掲示	新刊資料の受け入れ及び貸出し	特集コーナーの設置	ポスター等掲示	
計画(年度ごとの目標等)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
実績(値)	新刊資料の受け入れ及び貸出し 1件	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
達成率	特集コーナーの設置 1件	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
評価	ポスター等掲示 1件	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
		100.0	A		100.0	A		100.0	A		100.0	A		100.0	A		
														5か年の総合評価 ※評価の平均		100.0	A
5か年の総合評価に対する総括																	
市民にとって身近な存在である図書館で男女共同参画に関する特集コーナーを設置し、男女共同参画を“自分ごと”として感じてもらうきっかけ作りになったと思う。 ①展示資料数(新規に受入れた資料を含む) R元年度:134冊、R2年度:101冊、R3年度:28冊、R4年度は38冊、R5年度:43冊 ②特集コーナーのテーマ R元年度:「島田市の男女共同参画の日」及び「ふじのくに男女共同参画参画の日」の由来について、R2年度:「SDGs」について、R3年度:「男女共同参画13のキーワードの説明」、R4年度:SDGs「ジェンダー平等」の目標、R5年度「静岡県パートナーシップ宣誓制度の紹介」 ③関連団体(静岡県男女共同参画センター指定管理者等)からの資料を館内に掲示した。																	

事業シート(事業番号)

項目	53	市民への意識調査の実施										目標達成のための取組	第4次計画策定前に調査を実施する。	担当課			
内容	市民を対象に男女共同参画に関する意識調査を実施し、状況把握を行う。										市民協働課						
事業	76	市民を対象とした意識調査の実施															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		追加・修正した設問数	設問検討の打ち合わせ回数	有効回答率	確認・見直しをした設問数	設問検討の打ち合わせ回数	有効回答率	確認・見直しをした設問数	設問検討の打ち合わせ回数	有効回答率	確認・見直しをした設問数	設問検討の打ち合わせ回数	有効回答率	確認・見直しをした設問数	設問検討の打ち合わせ回数	有効回答率	
計画(年度ごとの目標等)	推進委員等と設問内容を検討し、6～7月に実施された島田市総合計画市民意識調査に、男女共同参画に関する設問を加えて実施した。 実施期間 H30.6.21～H30.7.31 対象者 20歳以上の市民2500人 回答数 952人 有効回答率 38.1%	13	1	50%	13	1	50%	13	1	50%	13	1	50%	13	1	50%	確認・見直しをした設問数13個 設問検討の打ち合わせ回数1回 有効回答率50%(R5実施)
実績(値)		2	1	38%	4	0	38%	6	0	38%	8	1	38%	9	5	46%	
達成率		15.4	100.0	76.2	30.8	0.0	76.2	46.2	0.0	76.0	61.5	100.0	76.0	69.2	500.0	92.2	
評価		C	A	B+	B-	C	B+	B	C	B+	B+	A	B+	B+	A	A	
												5か年の総合評価 ※評価の平均			88.0	A	
5か年の総合評価に対する総括																	
令和5年度の調査実施に向けて、平成30年度の調査で使用した設問の確認と見直しを行った。また、令和5年度に実施する市民意識調査の実際の項目を検討する打ち合わせを行い、新たに必要項目等を検討した。																	

事業シート(事業番号)

項目	54	市職員への意識調査の実施										目標達成のための取組	第4次計画策定前に調査を実施する。また、回答率を上げるよう設問の検討を行う。	担当課			
内容	市職員を対象に男女共同参画に関する意識調査を実施し、状況把握を行う。										市民協働課						
事業	77	市職員を対象とした意識調査の実施															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		確認・見直しした設問数	打ち合わせ回数	有効回答率	確認・見直しした設問数	打ち合わせ回数	有効回答率	確認・見直しした設問数	打ち合わせ回数	有効回答率	確認・見直しした設問数	打ち合わせ回数	有効回答率	確認・見直しした設問数	打ち合わせ回数	有効回答率	
計画(年度ごとの目標等)	調査結果を勘案して、第3次行動計画を策定した。 H29年度回答率 52.1%	22	1	70%	22	1	70%	22	1	70%	22	1	70%	22	1	70%	H29実施の設問内容の確認・見直し 22問(属性に関するものを除く) 設問検討についての打ち合わせ1回 有効回答率70%(R4実施予定)
実績(値)		4	0	52%	6	0%	52%	8	0%	52%	14	1	52%	28	1	77%	
達成率		18.2	0.0	74.4	27.3	0.0	74.4	36.4	0.0	74.3	63.6	100.0	74.3	127.3	100.0	109.3	
評価		C	C	B+	B-	C	B+	B-	C	B+	B+	A	B+	A	A	A	
												5か年の総合評価 ※評価の平均			58.6	B	
5か年の総合評価に対する総括																	
令和5年度は、性の多様性に関する職員研修にあわせアンケート調査を実施した。(研修参加者数約500人 研修前アンケート設問数12問、回答人数410人、研修後アンケート設問数16問、回答人数355人)																	

事業シート(事業番号)

項目	55	男女共同参画に関する講演会等の開催									目標達成のための取組	「男は仕事、女は家庭」といった性別役割分担意識を改善していくために、講演会等の開催や街頭広報等の啓発事業を実施していく。	担当課				
内容	市民を対象とした講演会や「男女共同参画の日」の街頭広報を実施する。									市民協働課							
事業	78	男女共同参画に関する講演会等の開催															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		女性議会参加者(参加者数/定員数)	人材育成講座の参加者数(延べ)	街頭広報実施回数	女性議会参加者(参加者数/定員数)	人材育成講座の参加者数(延べ)	街頭広報実施回数	女性議会参加者(参加者数/定員数)	人材育成講座の参加者数(延べ)	街頭広報実施回数	女性議会参加者(参加者数/定員数)	人材育成講座の参加者数(延べ)	街頭広報実施回数	女性議会参加者(参加者数/定員数)	人材育成講座の参加者数(延べ)	街頭広報実施回数	
計画(年度ごとの目標等)	女性議会の開催 日時 7月30日 参加者 8人(公募)	80%	30	1	80%	30	1	80%	30	1	80%	30	1	80%	30	1	男女共同参画に関する講演会等の開催 女性議会参加率80%以上 街頭広報 1回 人材育成事業参加者数(延べ)30人
実績(値)	男女共同参画の日街頭広報	100%	40	1	50%	17	0	100%	18	0	83%	48	0	100%	35	0	
達成率	日時 7月30日 参加者 51人(推進委員会委員、啓発推進委員、静岡県立大学学生、静岡県英和学院大学学生、市職員)	125.0	133.3	100.0	62.5	56.7	0.0	125.0	60.0	0.0	103.8	160.0	0.0	125.0	116.7	0.0	
評価		A	A	A	B+	B	C	A	B+	C	A	A	C	A	A	C	
		119.4	A		39.7	B-		61.7	B+		87.9	A		80.6	A		
5か年の総合評価 ※評価の平均															77.9	B+	
5か年の総合評価に対する総括																	
女性議会や人材育成講座等については、毎年実施し、概ね計画どおりの参加者数であった。令和5年度については、第10回目の女性議会を実施し過去の登壇者から5人募集し、5人参加した。また、女性議会参加者交流会を実施し、過去の登壇者14人と静岡県立大学生16人が参加しワークショップを行った。男女共同参画の日街頭広報はコロナ禍から実施しないこととした。																	

事業シート(事業番号)

項目	56	条例・行動計画等についての普及・啓発									目標達成のための取組	実施計画の進捗状況を市ホームページで公表する。(年1回)	担当課				
内容	条例及び行動計画、法制度の普及・啓発に努めるとともに行動計画の実施計画の進捗の管理及び公表を行う。									市民協働課							
事業	79	条例・行動計画の普及・啓発															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		実施計画のホームページ掲載	実施計画に係る会議の開催回数		実施計画のホームページ掲載	実施計画に係る会議の開催回数		実施計画のホームページ掲載	実施計画に係る会議の開催回数		実施計画のホームページ掲載	実施計画に係る会議の開催回数		実施計画のホームページ掲載	実施計画に係る会議の開催回数		
計画(年度ごとの目標等)		1	7		1	7		1	7		1	7		1	7		実施計画の進捗状況のホームページ公開 1回 実施計画に係る会議の開催数 7回
実績(値)	第3次行動計画策定に係る情報(会議、パブリックコメントの募集など)を、ホームページに掲載した。	1	8		1	6		1	6		1	7		1	11		
達成率		100.0	114.3		100.0	85.7		100.0	85.7		100.0	100.0		100.0	157.1		
評価		A	A		A	A		A	A		A	A		A	A		
		107.1	A		92.9	A		92.9	A		100.0	A		128.6	A		
5か年の総合評価 ※評価の平均															104.3	A	
5か年の総合評価に対する総括																	
第3次行動計画実施計画の実績については、毎年度市ホームページに掲載した。また、実施計画の審議のために会議を開催しており、令和5年度は、第4次行動計画作成に係る審議もあったため、関係会議を11回開催した。また、パブリックコメントを募集し、結果を市ホームページに掲載した。																	

事業シート(事業番号)

項目	57	啓発推進員の活動の拡充										目標達成のための取組	事務局で人材発掘をし、多様な事業を展開できるような環境を整える。	担当課
内容	啓発推進員の拡充に努めるほか、グループの育成支援を行う。										市民協働課			
事業	80	啓発推進員の活動の拡充												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	②	年度単位評価												
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)		
指標		啓発推進員 の人数		啓発推進員 の人数		啓発推進員 の人数		啓発推進員 の人数		啓発推進員 の人数				
計画 (年度ごとの目標 等)		10		10		10		10		10			啓発推進員の人数 10人	
実績(値)		5		6		5		7		3				
達成率	啓発推進員の人数 5人	50.0		60.0		50.0		70.0		30.0				
評価		B		B+		B		B+		B-				
		50.0	B	60.0	B+	50.0	B	70.0	B+	30.0	B-			
											5か年の総合評価 ※評価の平均	52.0	B	
5か年の総合評価に対する総括														
啓発推進員の人数は昨年度と比較し減少したが、活動回数は10回を超えて活動しており、WEB版しまだばれつとを新たに作成することができた。														

事業シート(事業番号)

項目	58	男女共同参画推進のためのネットワークの拡充										目標達成のための取組	県の動向をみながら、男女共同参画社会づくり宣言事業所を対象に交流会等の開催や啓発活動を行う。	担当課
内容	男女共同参画社会づくり宣言事業所のネットワークを形成や、しずおか中部連携中枢都市圏による連携事業を推進する。										市民協働課			
事業	81	男女共同参画社会づくり宣言事業所のネットワークの形成												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	②	年度単位評価												
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)		
指標		事業所向け セミナーの 案内	事業所を対 象にしたア ンケートの 実施	事業所向け セミナーの 案内	事業所を対 象にしたア ンケートの 実施	事業所向け セミナーの 案内	事業所を対 象にしたア ンケートの 実施	事業所向け セミナーの 案内	事業所を対 象にしたア ンケートの 実施	事業所向け セミナーの 案内	事業所を対 象にしたア ンケートの 実施			
計画 (年度ごとの目標 等)		1	2	1	2	1	2	1	2	1	2		事業所向けセミ ナーの案内 1回 事業所を対象に したアンケートの 実施 2回	
実績(値)		1	2	1	1	1	1	1	1	1	1			
達成率	宣言事業所に対して、 取組の調査は実施し なかった。	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0	100.0	50.0	100.0	50.0			
評価		A	A	A	B	A	B	A	B	A	B			
		100.0	A	75.0	B+	75.0	B+	75.0	B+	75.0	B+			
											5か年の総合評価 ※評価の平均	80.0	A	
5か年の総合評価に対する総括														
毎年度、事業所向けのセミナーを実施しており、令和5年度は、男性の育児休業制度についてのセミナーを開催し、アンケートを実施した。														

事業シート(事業番号)

項目	58	男女共同参画推進のためのネットワークの拡充									目標達成のための取組	しずおか中部連携中枢都市圏の連携事業として、男女共同参画に関する事業を実施する。	担当課				
内容	男女共同参画社会づくり宣言事業所のネットワークを形成や、しずおか中部連携中枢都市圏による連携事業を推進する。												戦略推進課 市民協働課				
事業	82	しずおか中部連携中枢都市圏連携事業															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		関係市町事業の広報・講座情報の提供	会議への出席	連携事業の実施回数	関係市町事業の広報・講座情報の提供	会議への出席	連携事業の実施回数	関係市町事業の広報・講座情報の提供	会議への出席	連携事業の実施回数	関係市町事業の広報・講座情報の提供	会議への出席	連携事業の実施回数	関係市町事業の広報・講座情報の提供	会議への出席	連携事業の実施回数	
計画(年度ごとの目標等)		3	1	1	3	1	1	3	1	1	3	1	1	3	1	1	関係市町事業の広報・講座情報の提供 3回 関係会議への出席 1回 連携事業の実施 1回
実績(値)	しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン事業として、11月18日に「女子きらっ☆メンターカフェ2018」を島田市で実施した。	2	0	0	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	
達成率		66.7	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
評価		B+	C	C	B+	C	C	A	C	C	A	C	C	A	C	C	
		22.2	B-		22.2	B-		33.3	B-		33.3	B-		33.3	B-		
															5か年の総合評価 ※評価の平均	28.9	B-
5か年の総合評価に対する総括																	
静岡市が中心として実施していたしずおか中部連携中枢都市圏による男女共同参画に関する連携事業や会議が、令和元年度から実施がなくなったため総合評価がB-となった。 関係市町事業の広報・講座情報の提供は、静岡市のにじいろ成人式や県内で実施する居場所づくり(にじいろカフェ)やセミナーなどについて、ホームページにおいて情報提供を行った。																	

事業シート(事業番号)

項目	59	市刊行物における男女共同参画の視点に留意した情報発信									目標達成のための取組	市刊行物について固定的な性別役割分担意識にとられない表現への配慮を働きかける。	担当課				
内容	市刊行物について固定的な性別役割分担意識にとられない表現への配慮を働きかける。												市民協働課				
事業	83	市刊行物における男女共同参画の視点に留意した情報発信															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		表現ガイドの周知・広報媒体への掲載	表現ガイドの見直し作業		表現ガイドの周知・広報媒体への掲載	表現ガイドの見直し作業		表現ガイドの周知・広報媒体への掲載	表現ガイドの見直し作業		表現ガイドの周知・広報媒体への掲載	表現ガイドの見直し作業		表現ガイドの周知・広報媒体への掲載	表現ガイドの見直し作業		
計画(年度ごとの目標等)		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		表現ガイドの周知のため、広報媒体(ホームページなど)への掲載 1回 表現ガイドの見直し作業 1回
実績(値)	以前から作成していた表現ガイドを、公表・運用するには至らなかった。	1	1		1	0		1	0		1	0		0	1		
達成率		100.0	100.0		100.0	0.0		100.0	0.0		100.0	0.0		0.0	100.0		
評価		A	A		A	C		A	C		A	C		C	A		
		100.0	A		50.0	B		50.0	B		50.0	B		50.0	B		
															5か年の総合評価 ※評価の平均	60.0	B+
5か年の総合評価に対する総括																	
従来は、表現ガイドの照会をホームページで行っていたが、令和5年度は、性の多様性に関する職員向けガイドラインを作成した。今後は、市民向けガイドブック(パンフレット)を作成し、ホームページ等で情報発信していく予定																	

事業シート(事業番号)

項目	60	家庭や地域等で活躍する男性の情報発信										目標達成のための取組	啓発情報紙パレットや市ホームページ、広報しまだ等にロールモデルとなる男性の記事を掲載する。	担当課				
内容	主体的に家庭生活や地域活動に関わっているロールモデルを男女共同参画啓発情報紙「パレット」等で紹介する。										市民協働課							
事業	84	男性の男女共同参画事例の紹介																
■実績(値)・年度ごとの評価																		
評価モデル	②	年度単位評価																
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		パレットへの関連記事掲載数	ホームページでの事例紹介	広報しまだでの関連情報紹介	パレットへの関連記事掲載数	ホームページでの事例紹介	広報しまだでの関連情報紹介	パレットへの関連記事掲載数	ホームページでの事例紹介	広報しまだでの関連情報紹介	パレットへの関連記事掲載数	ホームページでの事例紹介	広報しまだでの関連情報紹介	パレットへの関連記事掲載数	ホームページでの事例紹介	広報しまだでの関連情報紹介		
計画(年度ごとの目標等)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	啓発情報紙への掲載 1回 ホームページでの事例紹介 1回 広報しまだでの関連情報紹介 1回	
実績(値)	パレットに直接関連する記事は掲載できなかったが、男の料理教室を取り上げる定期コーナー「俺'sキッチン」で家事に取り組む男性を紹介した。	2	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	1		
達成率		200.0	0.0	0.0	200.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0		
評価		A	C	C	A	C	C	A	C	C	A	C	C	A	A	A		
															5か年の総合評価 ※評価の平均		60.0	B+
5か年の総合評価に対する総括																		
WEB版しまだぱれっとに男性の男女共同参画に関連する内容を掲載した。(みんなのつぶやき、家事育児シェアリングチェックシート、コラム)また、ホームページや広報しまだに、WEB版しまだぱれっとについて掲載した。																		

第3次島田市男女共同参画行動計画(令和元～5年度)実施計画書

基本情報(計画での位置づけ)

区分	Ⅲ	男女共同参画社会の実現に向けた環境の整備
基本的施策	9	男女の人権を尊重する教育や学習の充実

事業シート(事業番号)

項目	61	男女平等・人権教育の実施	目標達成のための取組	県の主催する人権研修会に、各校の人権担当者が参加する。研修会での伝達事項を学校で周知する場を必ず設け、全ての教職員の人権意識を高める。	担当課
内容	男女平等や人権尊重の視点に立った学校運営や教育を行う。				学校教育課
事業	85	小中学校における人権教育			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価												令和5年度(2023)※目標(値)
		令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)				
指標	平成30年度(2018)※現状(値)	実施率		実施率										
計画(年度ごとの目標等)		100%		100%		100%		100%		100%		100%		
実績(値)	全小中学校実施率100%	100%		100%		100%		100%		100%		100%		
達成率		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		
評価		A		A		A		A		A		A		
		100.0	A	100.0	A									
												5か年の総合評価 ※評価の平均	100.0	A

5か年の総合評価に対する総括

目標は達成した。引き続き研修会での学びを伝達する機会を設ける。

事業シート(事業番号)

項目	61	男女平等・人権教育の実施	目標達成のための取組	市内の小中学校に人権教育出前講座の開催を呼びかけて、輪番制で実施していく。また、福祉施設又は高齢者施設でも開催していく。(年間6カ所)	担当課
内容	小中学校、高校における人権教育出前講座を開催する。				生活安心課
事業	86	小中学校、幼稚園、保育園における人権教育講座の開催			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価												令和5年度(2023)※目標(値)
		令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)				
指標	平成30年度(2018)※現状(値)	出前講座開催回数(回)	出前講座受講者数(人)	出前講座開催回数(回)	出前講座受講者数(人)									
計画(年度ごとの目標等)		6	250	6	250	6	250	6	250	6	250	6	250	
実績(値)	出前講座開催回数7回 出前講座受講者数480人	6	202	0	0	1	28	5	302	6	615	6	615	
達成率		100.0	80.8	0.0	0.0	16.7	11.2	83.3	120.8	100.0	246.0	100.0	246.0	
評価		A	A	C	C	C	C	A	A	A	A	A	A	
		90.4	A	0.0	C	13.9	C	102.1	A	173.0	A	173.0	A	
												5か年の総合評価 ※評価の平均	75.9	B+

5か年の総合評価に対する総括

R5目標:出前講座開催回数6回、実績:6回、達成率100.0% 出前講座受講者数250人、実績:615人、達成率246.0%
新型コロナウイルス感染症の拡大の影響のため、出前講座の開催回数の目標を達成することができなかった時期もあったが、コロナ禍後は出前講座の開催回数・受講者数ともに目標を達成することができた。

事業シート(事業番号)

項目	61	男女平等・人権教育の実施										目標達成のための取組	毎年開催することで、児童生徒に周知していく。	担当課
内容	男女共同参画意識につながる児童生徒向け教室等を開催する。										学校給食課			
事業	87	児童生徒向け料理教室等の開催												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	②	年度単位評価												
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)		
指標		親子料理教室参加人数	中学校料理バトル参加人数	親子料理教室参加人数	中学校料理バトル参加人数	親子料理教室参加人数	センター施設見学会	親子料理教室参加人数	センター施設見学会	親子料理教室参加人数	センター施設見学会			
計画(年度ごとの目標等)		55	27	55	(以降廃止)	55	40	55	40	55	40	児童生徒向け料理講座等年1回以上開催		
実績(値)	親子料理教室26組58名参加 中学生料理バトル7組30名参加	55	27	0		0	42	0	43	32	47			
達成率		100.0	100.0	0.0		0.0	105.0	0.0	107.5	58.2	117.5			
評価		A	A	C		C	A	C	A	B	A			
		100.0	A	0.0	C	52.5	B	53.8	B	87.8	A			
5か年の総合評価 ※評価の平均											65.4	B+		
5か年の総合評価に対する総括														
<p>・中学生料理バトルは参加校がいつも同じだったことから廃止し、代わりに親子施設見学会を行うようにしたが、毎年定員以上の申込みがあり人気となっている。</p> <p>・親子料理教室は、コロナ前まではプラザおおると六合公民館の2会場で同日開催を行っていた。R2～R4はコロナで中止。R5は久々の開催だったため、1会場での開催とした。</p> <p>・R5の親子料理教室に参加した親は平日の午前開催ということもあり全員母親だった。</p>														

事業シート(事業番号)

項目	62	教育相談室の充実										目標達成のための取組	教育相談室の電話番号周知の取り組みを継続する。教育相談内容については、教育センター、学校と情報を共有し、連携して支援にあたる。	担当課
内容	教育相談室を設置し、面談・電話による教育相談を実施する。										学校教育課			
事業	88	教育相談の実施												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	②	年度単位評価												
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)		
指標		実施率		実施率		実施率		実施率		実施率				
計画(年度ごとの目標等)		100%		100%		100%		100%		100%		実施率100%		
実績(値)		100%		100%		100%		100%		100%				
達成率	実施率100%	100.0		100.0		100.0		100.0		100.0				
評価		A		A		A		A		A				
		100.0	A											
5か年の総合評価 ※評価の平均											100.0	A		
5か年の総合評価に対する総括														
<p>目標は、達成できた。引き続き、相談実施、相談内容の共有を図っている。</p>														

事業シート(事業番号)

項目	63	保育士の研修の充実						目標達成のための取組	人権問題に係る研修等の啓発や、男性保育士の職場環境等の問題点等について協議する等、保育に携わる職員の人権意識を高めていく。	担当課								
内容	保育士の研修会等に男女平等や人権尊重に関するテーマを取り入れる。																	
事業	89	保育士研修会等による啓発の実施																
■実績(値)・年度ごとの評価																		
評価モデル	②	年度単位評価																
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		研修会開催回数	研修会参加人数		研修会開催回数	研修会参加人数		研修会開催回数	研修会参加人数		研修会開催回数	研修会参加人数		研修会開催回数	研修会参加人数			
計画(年度ごとの目標等)		4	120		4	120		4	120		4	120		4	120			
実績(値)	研修会開催回数6回	4	105		5	87		3	160		3	56		4	212			
達成率	研修会参加人数170人	100.0	87.5		125.0	72.5		75.0	133.3		75.0	46.7		100.0	176.7			
評価		A	A		A	B+		B+	A		B+	B		A	A			
		93.8	A		98.8	A		104.2	A		60.8	B+		138.3	A			
															5か年の総合評価 ※評価の平均		99.2	A
5か年の総合評価に対する総括																		
年度によって研修会開催回数や参加人数のばらつきはあるが、継続して研修会を開催することにより人権意識を高めることができた。																		

事業シート(事業番号)

項目	64	性別にとらわれない進路指導の充実						目標達成のための取組	固定的な性別役割分担にとらわれず、進路や職業選択をしている事例等をとりあげ進路指導をする。	担当課								
内容	進路指導について、性別にとらわれることなく、児童生徒の特性を活かした指導に努める。																	
事業	90	キャリア教育において、進路手引書を活用し、性別にとらわれない進路指導を行う。																
■実績(値)・年度ごとの評価																		
評価モデル	②	年度単位評価																
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		実施率			実施率			実施率			実施率			実施率				
計画(年度ごとの目標等)		100%			100%			100%			100%			100%				
実績(値)		100%			100%			100%			100%			100%				
達成率	全小中学校実施率100%	100.0			100.0			100.0			100.0			100.0				
評価		A			A			A			A			A				
		100.0	A		100.0	A		100.0	A		100.0	A		100.0	A			
															5か年の総合評価 ※評価の平均		100.0	A
5か年の総合評価に対する総括																		
目標は達成できた。今後も引き続き、生徒に寄り添った進路指導を行う。																		

事業シート(事業番号)

項目	64	性別にとられない進路指導の充実										目標達成のための取組	性別にとられず人権を尊重した情報紙を作成し、提供していく。	担当課			
内容	進路指導の参考として利用してもらうよう、市内高等学校へ男女共同参画啓発情報紙「パレット」の配布などの情報提供を行う。										市民協働課						
事業	91	市内高等学校へ男女共同参画の情報提供															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		情報誌の発行・広報への提供	高校生向け記事の掲載		情報誌の発行・広報への提供	高校生向け記事の掲載		情報誌の発行・広報への提供	高校生向け記事の掲載		情報誌の発行・広報への提供	高校生向け記事の掲載		情報誌の発行・広報への提供	高校生向け記事の掲載		
計画(年度ごとの目標等)		2	1		2	1		2	1		2	1		2	1		
実績(値)	パレット掲載記事・知ってほしいデートDV	2	1		2	1		2	2		2	1		0	0		
達成率		100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	200.0		100.0	100.0		0.0	0.0		
評価		A	A		A	A		A	A		A	A		C	C		
		100.0	A		100.0	A		150.0	A		100.0	A		0.0	C		
														5か年の総合評価 ※評価の平均		90.0	A
5か年の総合評価に対する総括																	
情報誌の発行・高校への提供については、令和4年度までは実施していたが、令和5年度は、紙の情報誌からWEB版はまだぱれっとへ移行するため、WEB版の作成に時間を要したこと、また、ターゲットを子育て世代にしたことにより、高校向けの記事の掲載ができなかった。WEB版パレットは今後高校にも情報提供していく予定。																	

事業シート(事業番号)

項目	65	人権尊重の啓発活動の実施										目標達成のための取組	街頭広報の実施(6月、12月)。 人権ポスター展(11月、12月)を開催する。	担当課			
内容	人権週間に合わせて、男女の人権尊重の啓発活動を実施する。										生活安心課						
事業	92	人権擁護委員の日及び人権週間における啓発活動の実施															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		啓発活動開催日数(日)	啓発活動開催箇所(箇所)		啓発活動開催日数(日)	啓発活動開催箇所(箇所)		啓発活動開催日数(日)	啓発活動開催箇所(箇所)		啓発活動開催日数(日)	啓発活動開催箇所(箇所)		啓発活動開催日数(日)	啓発活動開催箇所(箇所)		
計画(年度ごとの目標等)		1	3		1	3		1	3		1	3		1	3		
実績(値)	開催日数 1日 開催箇所 3箇所	1	3		0	0		0	0		1	3		6	4		
達成率		100.0	100.0		0.0	0.0		0.0	0.0		100.0	100.0		600.0	133.3		
評価		A	A		C	C		C	C		A	A		A	A		
		100.0	A		0.0	C		0.0	C		100.0	A		366.7	A		
														5か年の総合評価 ※評価の平均		113.3	A
5か年の総合評価に対する総括																	
R5目標:啓発活動開催日数1日、実績:6日、達成率600.0% 啓発活動開催箇所3箇所、実績:4箇所、達成率133.3% コロナ禍の影響で啓発活動が実施できない時期もあったが、コロナ後は街頭広報を実施し、目標を達成することができた。また、人権啓発ポスター展会場内でパフレット及び啓発物品の配布を行い啓発活動を実施した。																	

事業シート(事業番号)

項目	66	公民館等の各種講座と連携した男女共同参画の推進						目標達成のための取組	社会教育施設と連携し、男女共同参画に関する社会教育講座を開催する。						担当課		
内容	公民館等で開催される講座等と連携し、男女共同参画社会に関する講座を開催する。											社会教育課					
事業	93	男女共同参画講座の開催															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023) ※目標(値)			
指標		開催数(回)			開催数(回)			開催数(回)			開催数(回)			開催数(回)			
計画(年度ごとの目標等)		1			1			1			1			1			
実績(値)	金谷公民館の社会教育(家庭教育)講座	1			1			1			1			1			
達成率	父親対象の親子講座「パパと遊ぼう!親子体操」	100.0			100.0			100.0			100.0			100.0			
評価	1回開催 受講生11組	A			A			A			A			A			
		100.0	A		100.0	A		100.0	A		100.0	A		100.0	A		
														5か年の総合評価 ※評価の平均		100.0	A
5か年の総合評価に対する総括																	
親子ふれあいに係る講座については、子育てや家事への男性の取り組みの意識が大きく変化している中、この5年間で定着してきていると感じている。																	

事業シート(事業番号)

項目	66	公民館等の各種講座と連携した男女共同参画の推進						目標達成のための取組	乳幼児を持つ保護者が講座へ参加し、自己啓発を実現しやすい環境づくりとして、講座の開催時には託児保育を実施していく。また、各課へ託児利用について周知していく。						担当課		
内容	子を持つ親が講座・講演会等に参加しやすいよう託児を行う。											社会教育課					
事業	94	託児付き講座の開催															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023) ※目標(値)			
指標		開催数(回)			開催数(回)			開催数(回)			開催数(回)			開催数(回)			
計画(年度ごとの目標等)		150			150			150			150			150			
実績(値)	託児募集人数 当初計画 1,569人	113			63			118			114			113			
達成率	託児募集人数 実績 1,040人	75.3			42.0			78.7			76.0			75.3			
評価	社会教育課ほか託児付き講座等実績回数 143回	B+			B			B+			B+			B+			
		75.3	B+		42.0	B		78.7	B+		76.0	B+		75.3	B+		
														5か年の総合評価 ※評価の平均		69.5	B+
5か年の総合評価に対する総括																	
庁内での託児付き講座の開催数について、社会教育課が取りまとめて把握している。平成30年度の講座実績が多かったため、それに基づいた目標値を設定したが、庁内各課の講座数の減や令和2~4年度においては、コロナ感染拡大により目標を下回る実績となった。託児付き講座の開催に当たっては、庁内にマニュアルを配布するなど、託児利用の周知に取り組んだ。																	

事業シート(事業番号)

項目	67	PTA活動等学校行事における男女共同参画の推進	目標達成のための取組	PTA行事等学校行事を全校2日以上、土日に開催したり、父親が参加しやすくなるような懇談会の内容を工夫したりする。	担当課
内容	保護者が参加しやすい時間や土曜・日曜などを利用したPTA行事や学校行事を実施する。				学校教育課
事業	95	PTA活動等学校行事への参加の推進			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価												令和5年度(2023) ※目標(値)			
		令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)				令和5年度(2023)		
指標	平成30年度(2018) ※現状(値)	設定率			設定率			設定率			設定率			設定率			
計画(年度ごとの目標等)	全小中学校2日以上計画・開催	100%			100%			100%			100%			100%			全小中学校2日以上計画・開催
実績(値)		100%			50%			50%			50%			50%			
達成率		100.0			50.0			50.0			50.0			50.0			
評価		A			B			B			B			B			
		100.0	A	50.0	B	50.0	B	50.0	B	50.0	B	50.0	B				
												5か年の総合評価 ※評価の平均	60.0	B+			

5か年の総合評価に対する総括

目標は達成できなかった。中学校は、土日に行事を開催しなかったが、行事を平日に開催することで、土日の習い事や部活、家庭や地域のイベント等とスケジュールが衝突しにくくなったり、振替休日に保護者が休みを取得する必要がなくなったりするなど、メリットも少なくない。今後は、土日と限定せず、男女問わず参加できるよう開催日や内容を検討していく。

事業シート(事業番号)

項目	68	家庭教育学級を通じた男女共同参画の啓発	目標達成のための取組	保護者が集まる参観日等を活用して実施する。	担当課
内容	保護者が参加する家庭教育学級において、家庭・地域での男女共同参画を推進するため、母親以外の参加の拡大を図る。				社会教育課
事業	96	家庭教育学級における参加者層拡大に向けた事業の実施			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価												令和5年度(2023) ※目標(値)			
		令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)				令和5年度(2023)		
指標	平成30年度(2018) ※現状(値)	実施学級数(学級)			実施学級数(学級)			実施学級数(学級)			実施学級数(学級)			実施学級数(学級)			
計画(年度ごとの目標等)	家庭教育学級開設している全ての学級(18学級)で親子参加の学習会(親子体操・親子クッキング等)を実施した。	18			18			17			17			17			保護者が参加のしやすい土日に全17学級で1回以上学習会を実施する。
実績(値)		18			6			6			16			17			
達成率		100.0			33.3			35.3			94.1			100.0			
評価		A			B-			B-			A			A			
		100.0	A	33.3	B-	35.3	B-	94.1	A	100.0	A						
												5か年の総合評価 ※評価の平均	72.5	B+			

5か年の総合評価に対する総括

令和2年度から令和4年度までは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各学級の状況により実施できない学級がありました。令和5年度からは、人とのつながりの大切さを実感し、市内すべての小学校で家庭教育学級を開講することができました。母親も仕事をしている家庭が増えている中で、参観日などを活用して父親も母親も参加できる学習会を実施しています。また、家族みんなで取り組める家庭読書(在宅学習)を実施することで、父親、母親、祖父母、兄弟等それぞれの家庭の状況に合った取り組みができました。

事業シート(事業番号)

項目	69	LGBTなど多様な性のあり方への理解の促進										目標達成のための取組	LGBTなど多様な性のあり方への理解を深めるため、学習機会の提供や啓発を行う。	担当課			
内容	LGBTなど多様な性のあり方への理解を深めるため、学習機会の提供や啓発を行う。													市民協働課			
事業	97	LGBTなど多様な性のあり方への理解を深めるための情報発信															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		啓発情報紙や広報しまだでの紹介	ホームページ等への掲載		啓発情報紙や広報しまだでの紹介	ホームページ等への掲載		啓発情報紙や広報しまだでの紹介	ホームページ等への掲載		啓発情報紙や広報しまだでの紹介	ホームページ等への掲載		啓発情報紙や広報しまだでの紹介	ホームページ等への掲載		
計画(年度ごとの目標等)		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		
実績(値)		1	1		1	1		1	1		1	2		3	2		
達成率	啓発情報紙やホームページでは紹介した実績がない。	100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	100.0		100.0	200.0		300.0	200.0		
評価		A	A		A	A		A	A		A	A		A	A		
		100.0	A		100.0	A		100.0	A		150.0	A		250.0	A		
														5か年の総合評価 ※評価の平均	140.0	A	
5か年の総合評価に対する総括																	
LGBTなど多様な性のあり方への理解の促進を図るため、令和5年3月に多様性に関する意識啓発アドバイザーを採用した。また、性の多様性については、アドバイザーを含め広報しまだで特集記事を掲載した。令和5年度は毎年実施している性の多様性セミナーの他、県の居場所づくりを島田市で開催し、募集や開催案内をホームページやLINEなどで情報発信をした。																	

第3次島田市男女共同参画行動計画(令和元～5年度)実施計画書

基本情報(計画での位置づけ)

区分	Ⅲ	男女共同参画社会の実現に向けた環境の整備
基本的施策	10	男女共同参画に関する国際的な協調

事業シート(事業番号)

項目	70	国際社会の情報の収集と提供										目標達成のための取組	男女共同参画に関する国際的なデータ等を啓発情報紙バレットに年1回掲載する。	担当課
内容	男女共同参画に関する国際的な先進事例等の情報提供を行う。													市民協働課
事業	98	男女共同参画に関する国際的な情報の提供												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	②	年度単位評価												
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)		
指標		啓発情報紙への掲載	ホームページでの情報提供	啓発情報紙への掲載	ホームページでの情報提供	啓発情報紙への掲載	ホームページでの情報提供	啓発情報紙への掲載	ホームページでの情報提供	啓発情報紙への掲載	ホームページでの情報提供			
計画(年度ごとの目標等)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
実績(値)	情報紙バレットへ、世界経済フォーラムが調査している「ジェンダーギャップ指数」を掲載した。	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	啓発情報紙への掲載1回 ホームページでの情報提供1回		
達成率		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0			
評価		A	C	C	A	C	A	C	A	C	A			
		50.0	B	50.0	B	50.0	B	50.0	B	50.0	B			
											5か年の総合評価 ※評価の平均	50.0	B	
5か年の総合評価に対する総括														
バレットでは掲載ができなかったが、毎年ホームページで「ジェンダーギャップ指数」を掲載した。今後はWEB版しただばれっでも情報を掲載していく予定。														

事業シート(事業番号)

項目	71	外国人の生活基盤の整備										目標達成のための取組	市民のニーズを把握し、外国人向けの母子手帳、乳幼児健診受診票、予防接種問診票の充実を図る。	担当課
内容	在住外国人向けの行政情報やパンフレット等を作成・配布し、外国語による情報提供を行う。													健康づくり課
事業	99	外国人向け母子手帳等の配布												
■実績(値)・年度ごとの評価														
評価モデル	②	年度単位評価												
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)		
指標		外国人の方への周知(%)		外国人の方への周知(%)		外国人の方への周知(%)		外国人の方への周知(%)		外国人の方への周知(%)				
計画(年度ごとの目標等)		100		100		100		100		100				
実績(値)	外国人の方へ外国語の母子手帳等が選択できることの周知100%	100		100		100		100		100		外国人の方へ外国語の母子手帳等が選択できることの周知100%		
達成率		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0				
評価		A		A		A		A		A				
		100.0	A	100.0	A	100.0	A	100.0	A	100.0	A			
											5か年の総合評価 ※評価の平均	100.0	A	
5か年の総合評価に対する総括														
必要な方に対しては案内し、100%達成できた。														

事業シート(事業番号)

項目	71	外国人の生活基盤の整備						目標達成のための取組	新病院にむけて、外国語の案内表示の設置を検討する。 入院案内冊子作製のために、内容を検討し、行政等に依頼する。	担当課			
内容	在住外国人向けの行政情報やパンフレット等を作成・配布し、外国語による情報提供を行う。						総合医療センター 医事課						
事業	100	外国人受診者のための医療提供											
■実績(値)・年度ごとの評価													
評価モデル	①	積み上げ評価											
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023) ※目標(値)			
指標		達成率		達成率		達成率		達成率		達成率	現状値(2018)~目標年(2023)伸び率		
計画(年度ごとの目標等)		60%		70%		80%		90%		100%	100%		
実績(値)	院内の外国語案内表示状況は、総合受付、受付、会計窓口を設置している。	30%		40%		60%		80%		100%	100%		
達成率	外国人用の入院案内冊子はなし。	50.0		57.1		75.0		88.9		100.0	100.0		
評価		B		B		B+		A		A	A		
		50.0	B	57.1	B	75.0	B+	88.9	A	100.0	A		
										5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率		100.0	A
5か年の総合評価に対する総括													
R3年度に英語、R4年度にスペイン語、ポルトガル語の翻訳が完成し、R5年度に英語版の案内が完成した。													

事業シート(事業番号)

項目	71	外国人の生活基盤の整備						目標達成のための取組	制度改正などに伴い申請書様式を変更する際には、外国語表記の申請書も併せて変更する。	担当課			
内容	在住外国人向けの行政情報やパンフレット等を作成・配布し、外国語による情報提供を行う。						市民課						
事業	101	外国語による情報提供											
■実績(値)・年度ごとの評価													
評価モデル	②	年度単位評価											
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023) ※目標(値)			
指標		届出者数(人)		届出者数(人)		届出者数(人)		届出者数(人)		届出者数(人)			
計画(年度ごとの目標等)		500		500		500		500		500			
実績(値)	転入者 382人 マイナンバーカード申請及び交付者 63人 支援措置対象者 2人 (届出者数はすべて外国人) (計:447人)	453		476		452		1303		684			
達成率		90.6		95.2		90.4		260.6		136.8			
評価		A		A		A		A		A			
		90.6	A	95.2	A	90.4	A	260.6	A	136.8	A		
										5か年の総合評価 ※評価の平均		134.7	A
5か年の総合評価に対する総括													
外国人来庁者に対して、外国語表記のパンフレット等を活用し、適切に手続きを案内した。 平成30年度では、外国人届出者数が447人であったのに対し、令和5年度では490人になり、5か年で43人増加した。													

事業シート(事業番号)

項目	71	外国人の生活基盤の整備										目標達成のための取組	近隣市町の企業に案内を送付する。広報、ホームページ、ポスター、チラシなどで周知を図る。	担当課 文化振興課(島田市国際交流協会実施)		
内容	島田市国際交流協会が実施する、外国人を対象とした日本語教室を支援する。															
事業	102	外国人を対象とした日本語教室の開催														
■実績(値)・年度ごとの評価																
評価モデル	②	年度単位評価														
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		開催回数(回)	参加人数(延べ人数)		開催回数(回)	参加人数(延べ人数)		開催回数(回)	参加人数(延べ人数)		開催回数(回)	参加人数(延べ人数)		開催回数(回)	参加人数(延べ人数)	
計画(年度ごとの目標等)	開催回数 41回 開催時期 4~3月(3期)	43	665		43	665		43	665		43	665		43	665	
実績(値)	対象者 はじめて日本語を習う外国人	41	653		37	300		43	229		43	343		46	547	
達成率	内容 日常の会話や仕事で役に立つ日本語を学ぶとともに、文字の読み方や会話の仕方の練習も行う。 参加者数延べ653人	95.3	98.2		86.0	45.1		100.0	34.4		100.0	51.6		107.0	82.3	
評価		A	A		A	B		A	B-		A	B		A	A	
		96.8	A		65.6	B+		67.2	B+		75.8	B+		94.6	A	
														5か年の総合評価 ※評価の平均	80.0	A
5か年の総合評価に対する総括																
当事業は、令和3年度に社会教育課から国際交流協会へ移管され、市は補助金を交付して支援している。コロナ禍だった令和2年度は参加者数が低調だったが、行動制限の緩和に伴い、令和4年度から増加に転じている。新型コロナウイルスが第5類に移行したことに加え、企業へのPRや市民課での外国人転入者への案内など、外国人への周知が効果を上げていると考えられる。																

事業シート(事業番号)

項目	72	外国人の児童生徒に対する支援										目標達成のための取組	専門の市嘱託員と連携し、一人一人の困り感に寄り添い適切な支援を行う。	担当課 学校教育課		
内容	外国人児童生徒相談員等が学校を訪問し、児童生徒への適応指導や指導教員への助言・援助を行う。															
事業	103	市嘱託員の配置														
■実績(値)・年度ごとの評価																
評価モデル	②	年度単位評価														
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		嘱託員配置率			嘱託員配置率			嘱託員配置率			嘱託員配置率			嘱託員配置率		
計画(年度ごとの目標等)		100%			100%			100%			100%			100%		
実績(値)		100%			100%			100%			100%			100%		
達成率	嘱託員1名配置	100.0			100.0			100.0			100.0			100.0		
評価		A			A			A			A			A		
		100.0	A		100.0	A		100.0	A		100.0	A		100.0	A	
														5か年の総合評価 ※評価の平均	100.0	A
5か年の総合評価に対する総括																
目標は、達成することができた。令和4年度から、担当を1名増員し、計2名で支援・指導を行った。引き続き、支援・指導を行う。																

事業シート(事業番号)

項目	73	国際的人材の育成										目標達成のための取組	ALTの小中学校への派遣や総合的な学習の時間等を利用した国際的先進事例を学習するなど、さまざまな機会を通して国際理解教育を行う。	担当課		
内容	全小中学校において国際理解教育・外国語教育(ALT)による学校訪問を実施する。また、総合的な学習の時間等を利用して、国際経験豊富な講師を招いて講演会等を開催する。													学校教育課		
事業	104	ALT訪問等による小学校外国語活動及び中学校外国語科の授業における国際理解教育の推進 総合的な学習の時間等における国際理解教育の推進														
■実績(値)・年度ごとの評価																
評価モデル	②	年度単位評価														
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		実施率			実施率			実施率			実施率			実施率		
計画(年度ごとの目標等)		100%			100%			100%			100%			100%		
実績(値)		100%			100%			100%			100%			100%		
達成率	ALTによる授業 全小中学校実施率100%	100.0			100.0			100.0			100.0			100.0		
評価		A			A			A			A			A		
		100.0	A		100.0	A		100.0	A		100.0	A		100.0	A	
														5か年の総合評価 ※評価の平均	100.0	A
5か年の総合評価に対する総括																
目標は、達成できた。ALTが市内全小中学校で指導を行ったり、外国語活動、英語授業を始め、社会科、総合的な学習の時間等で国際理解教育を行ったりした。引き続き、取り組んでいく。																

事業シート(事業番号)

項目	74	国際交流活動の推進										目標達成のための取組	広報・ホームページなどで情報発信、また学校を通じて周知を図る。 学生同士の交流の場を創出する。	担当課		
内容	国際理解を深めるため、国際交流事業への市民参加を促進する。													文化振興課		
事業	105	国際交流及び国際協力に関する事業 国際理解を推進するため啓発事業														
■実績(値)・年度ごとの評価																
評価モデル	②	年度単位評価														
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		通訳件数	翻訳件数		通訳件数	翻訳件数		通訳依頼数	翻訳依頼数		通訳依頼数	翻訳依頼数		通訳依頼数	翻訳依頼数	
計画(年度ごとの目標等)		10	10		20	20		30	20		30	20		30	20	
実績(値)	外国人対応件数(件)	7	50		18	27		28	26		41	19		42	23	
達成率	通訳 5件 翻訳 0件	70.0	500.0		90.0	135.0		93.3	130.0		136.7	95.0		140.0	115.0	
評価		B+	A		A	A		A	A		A	A		A	A	
		285.0	A		112.5	A		111.7	A		115.8	A		127.5	A	
														5か年の総合評価 ※評価の平均	150.5	A
5か年の総合評価に対する総括																
在住外国人の庁内窓口業務等において、関係各課からの依頼により、国際交流協会が翻訳・通訳サービスの提供に取り組んでいる。在住外国人対応は、令和3年度から国際交流協会などの外部団体への依頼件数を指標としている。コロナによる行動制限が緩和された令和4年度から多言語パンフレットやホームページの翻訳や海外訪問団への通訳が増え、目標を大きく上回る結果となった。																